

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

——京阪神諸新聞社の報道にみる——

田 中 智 子

はじめに

本論文は、「同志社「大学設立義捐金募集運動」再考 一取扱窓口となった新聞雑誌に関するスケッチ⁽¹⁾」(以下「スケッチ」と略)と題する拙稿の続編である。

新島襄が広範な大学設立義捐金募集運動を展開したこと、その仕掛け人が徳富蘇峰であることはよく知られる。『同志社百年史』においても、現在同志社史資料センターに所蔵される「義捐金募集関係帳簿」⁽²⁾や蘇峰の主宰する『国民之友』を素材に、杉井六郎による募金実態の分析がなされた⁽³⁾。だが『国民之友』にとどまらず、草創期の日本ジャーナリズム界が広く募金活動に関わったことが、同志社の大学設立運動の特質であり、寄附のすそ野の地理的・階層的拡大をもたらしている。同志社・新島への直接寄附の記録である「義捐金募集関係帳簿」、あるいは『国民之友』一誌の活動を追うだけでは、市井の人々レベルを含めた寄附(「地のささめき」)の全貌には近づけない。募金活動に関係した新聞雑誌を網羅的に検索することが必要であり、それは今日の史料公開状況をふまえれば不可能なことではない。

本稿は、募金の広告・受付・取りまとめに手を挙げた新聞や雑誌がどのような報道を行い、いかなる人物や団体の呼応を得、どれほどの成果を挙げたのか、

その具体像を明らかにすることを目指す研究の一環である。

「スケッチ」では、募金窓口となったことが紙誌面に明記される東京の新聞雑誌（『国民之友』『報知新聞』『毎日新聞』『朝野新聞』『東京電報』『改進黨』『東京朝日新聞』『東京經濟雑誌』『東京輿論新誌』『女学雑誌』）、および四国・九州・北海道の地方紙（『海南新聞』『土陽新聞』『福岡日日新聞』『北海道毎日新聞』）、以上計14紙誌を取り上げた。

今回は、義捐金募集運動の「地理のお膝元」において取扱窓口となった新聞——すなわち京阪神一帯の地方紙＝『日出新聞』『中外電報』『大阪朝日新聞』⁽⁴⁾『東雲新聞』『大阪毎日新聞』『神戸又新日報』、また、「業界のお膝元」とでも言うべきか、警醒社が発行するキリスト教系の媒体『基督教新聞』『六合雑誌』、以上計8紙誌上の記事を収集した。

募金自体は、1890年代に入り新島襄が没した後も続けられたが、本稿は、「同志社大学義捐金募集取扱広告」（以下「第一回取扱広告」と略）が各紙誌面に登場した1888年11月から、締め切りとされた翌年4月末日までの状況を把握するものである。「スケッチ」と合わせ、この半年間の募金（以下「第一回募金」と略）の取扱窓口となった紙誌は、判明する限りにおいて、また紙誌面が残存する限りにおいて、すべてカバーできたと考えている。⁽⁵⁾

ただ、警醒社の媒体とその活動に関しては、信徒をターゲットとした募金活動が1889年5月以降にかなり拡大していくこともあり、報道姿勢や報道内容についての考察は別の機会に譲りたい。本稿は第Ⅰ章以下、京都・大阪・神戸の順で、それぞれの都市やその周辺における関連報道、あるいは新聞社による義捐金募集活動の特質を示していく。警醒社による記事は、行論に必要な範囲において援用するにとどめる。

今回取り上げる新聞のうち、「私立大学」設立支援の論陣を張ったことで知られる『東雲新聞』については、個々の記事のレベルに立ち入った太田雅夫の研究がある。⁽⁶⁾そこでは京阪神の新聞調査の必要もうたわれているが、悉皆検索

はいまだ行われていない。新島襄の「出遊記」、「〔同志社大学設立募金日誌〕」(以下「日誌」と略)⁽⁷⁾、個々の書簡などを典拠に作成された「新島襄年譜」⁽⁸⁾によって、大学設立運動の経緯はかなりの程度まで追うことができるが、各紙誌には、光が当てられなかった事実も埋もれている。記事の検索によって新たに判明した事実を付け加え、運動像をより豊かにしたい。

「義捐金募集関係帳簿」に列記された寄附者姓名の上には、「済」などの印が散見し、現実に拠出があったかどうかの判定は難しい。筆者は、このような史料状況の下、たとえ口約束に終わったとしても、大学設立への金銭的援助にまず手を挙げたことを評価すべきであり、最終的な拠金の有無は次の問題と位置づけてよいと考えるものである。とはいえ、今回取り上げる新聞紙上に掲載された義捐金については、「郵送料」などの語が併記されており、ほぼ新聞社への送金があったものと判断できよう。

本稿末尾には、「スケッチ」で分析した媒体や、別稿に考察を委ねた警醒社の分も合わせ、取扱窓口となった紙誌上に公表された寄附者氏名・金額の総覧表を付した。個別性が高いため、あるいは筆者の不明ゆえに、うまく言及できなかった義捐者についても、基礎データとして一人一人明示しておきたいと考えて作成したものであるが、本文叙述の根拠としても適宜参照いただきたい。文中で言及する際には、「総覧」と略記した。

なお、参照の煩わしさを避けるため、典拠とした新聞記事は注に回さず、各文中に記事タイトル・紙名略称・日付を付記していくことにする（例：「私立大学」『大毎』1888.11.21。ただし広告や寄附者列挙の場合の記事タイトルは省略）。また、上記「出遊記」「日誌」を典拠とした際も、同様に記載する。

I 京都——『中外電報』『日出新聞』

1 募金の実態

浜岡光哲が経営する京都の地方紙、『中外電報』および『日出新聞』は、ともに1888年11月7日、「第一回取扱広告」を掲載した。大きく二面を割いた附録「同志社大学設立の旨意」およびその掲載を告知する記事も、同時に公にされた。「第一回取扱広告」の文面は、『国民之友』が載せた広告と同一であるが、中外電報社・日出新聞社の二社のみの連名による広告であり、『国民之友』以下、東京・関西などの他紙誌名はまだ列挙されていない。『中外電報』は、年末まで連日のように、年明けからも平均すると4～5日に一度は広告を掲載しており、同志社の事業に対して協力的な基本姿勢が見て取れる。

『中外電報』と『日出新聞』に逐次掲載される義捐者名を見比べてみると、記載方法は異なるものの、ほぼ同一日に同一名を並べて報道している。つまり窓口は実質的には一つであった。両紙には、本事業に対するスタンスの違いも特にないと考えるよい。

「総覧」⑪から明らかなように、全国各地からの個別義捐も皆無ではないが、基本的には京都府下からの、しかも集団での寄附が中心である。特に、京都市中（区部）ではなく、府北部すなわち郡部の集団が目にとまる。このうち、丹後舞鶴の土井市兵衛、加佐郡溝尻村の木船衛門、同郡北有路村の平野吉左衛門、同郡岡田上村の岩田誼太郎、何鹿郡報恩村の片岡健之助、同郡私市村の大志万重晷、同郡元宮町の大槻藤左衛門、こちらは府南部となるが宇治郡大宅村の山本佐兵衛、同郡東笠取村の井上萬之助、以上は府会議員である（『日出』1889. 1. 24、3. 6、3. 22、4. 9、3. 16、3. 7）⁽⁹⁾。その多くが、地元呼びかけて小口の寄附をとりまとめ、範を垂れるがごとく、地域内で一二を争う額を自ら加え、送金したことがうかがわれる。とはいえ、府議のなかには、20円も拠出する者もあれば1円の者もあった。また、何鹿郡多田村の猪間一夫は、学務委員を務

め、大槻府議とともに綾部銀行を創設した人物であるが、議員らをしのぐ額を寄附している。

府議とはまた異なる勧誘主体の例として、丹後竹野郡間人の青年会員が同志社の大学設立に大賛成し、目下しきりに富裕家への寄附金勧誘を行っているとの報道もみられる（『丹後竹野郡間人通信』『中外』1889.3.15）。

区部に目を移そう。一つには、小学校教師の集団拠金が注目される（『中外』1888.12.20）。学校関係者の拠金は郡部においても確認されるが（『中外』1889.3.16）、このケースは、上京・下京両区の尋常小学校長が学区横断的に相談して実行したものと思われる。上京十三（殷富校）、二十五（待賢校）、二十七（城巽校）、三十一（銅駝校）、下京四（日彰校）、二十二（安井校）の校長・職員名が挙がっている。

区部からの集団寄附として、募金開始直後の同志社近隣におけるとりまとめ分もある。寺町本満寺前に寄留する同志社賄方の木下元治は、貧しく貯金もなかったが、礼拝堂での演説会に行き、新島襄が病体をも厭わず大学設立に尽力する姿に感銘を受けた。自身も所有物を売って3円50銭を寄附するとともに、知己朋友の間を周旋して30円65銭を集めたという。本人を含め寺町今出川界隈に居住する18人の名が挙がっているが、これらの人々も、同志社出入りの魚屋や八百屋や米屋だったと新島は記している（『中外』1888.11.22、11.23、『日出』1888.11.22、「日誌」）。

日出新聞社に託された寄附金には、木下の以下のような書簡が添えられているという。大学設立問題の位置づけや、今日いう公共事業に対する京都の「募金」観を知る上で興味深いので、全文翻刻引用する（句読点は筆者による。以下史料引用時同じ）。

拝啓 私事、新島先生の病気にも拘はらず大学校の為に尽力せらるゝを見て大に感心致し、只じつとして居られざる様感ぜられ候間、諸道具を売払

ひ三円十五銭の金を調へ候。尤も其時は湯銭も無之候へ共、此金を土台として諸方を廻り三十円六十五銭の寄附金を集め候に付、今寄附者の姓名相添、貴社へご送附仕候間、何卒同志社大学の資本中へ御加へ被下度候。

序に一言申上度は、兎角京都人は疎水工事の如き学校の如き何にしろ新奇なる事業が出来ると直に不平を称へるくせ有之候へ共、是皆京都人の利益となる事業なれば、決して不平を申すべきにあらず、皆相共に力を尽して寄附可致義と存候。例へば道路の修繕にしても、若し手を尽す人なくば、此京都は草藪と相成可申候。今大学が出来候へば、矢張肉体の上にも京都人の利益となるものなれば、互に骨折つて寄附致度候。

然し今一言申度は少し別の義に候へ共、道路の修繕など凡て何事によらず其の掛の方々が寄附金を集めらるゝ時、府民中には朝起きて其日は如何にして暮すべきやも知れざるものあるも構はず、其賭高の如何をも思はず、お前の方は何円出せなどゝ只無理やりに金を集めんとせらるゝは、甚だなげかはしき義と被存候間、此等の事に関係せらるゝ方は何卒深く御注意あつて、其の家の模様を篤と見分けて御尽力有之方可然存候。

右思ひ出たし候儘前後を顧みず書流し候。早々頓首

十一月十二日

日出新聞社御中

二白 寺町今出川東入野村徳二郎氏は既に町内に寄附金中へ壹円投ぜられしを、私不存申候に付参上仕候処、重ねて二円寄附せられ候。

この書簡からは、インフラ的な事業に対する強制募金が日常に存在していたことがうかがわれる。そのような募金を否定しつつも、同志社大学設立は「京都人」にとって、疎水開鑿同様に利益となるはずの新規事業だと捉え、拠金が呼びかけられている。

同志社賄方のケースのような一種の美談的報道は、北海道の篤志家からの拠

金に関わる他紙上の記事を援用するかたちでもなされた（「同志社大学の賛成者」『中外』1889.1.19⁽¹⁰⁾）。また、自社で受け付ける分のみならず、同志社本体に直接寄せられた大口寄附についても、折々に細かく報道している（『中外』1888.12.15、12.20、『日出』1888.12.12、1889.1.12など⁽¹¹⁾）。これらの報道が、抛金の呼び水となることを目論んだのであろう。最初に述べたように、両紙には、同志社の運動に対する好意的・協力的な姿勢が感じられる。

なお、全国からの個別寄附者のうち、著名な家系の人物としては、芸州竹原の頼俊直の名がみえる（『中外』1889.1.9）。頼山陽の親戚筋にあたる富裕家であるが、山陽が過ごした京都における教育活動を支援する気持ちの反映といえようか。

『中外電報』『日出新聞』による募金は、3月以降スパートがかけられたとみえ、駆け込み的な寄附が相次ぎ、4月20日には最後の催促が紙面に載る。そして5月2日には、両紙が取り扱った「第一回募金」の総計報告が行われた。並行して4月28日からは、翌月から11月末日を期限とした募金を継続することを伝える「同志社大学第二回義捐金募集広告」（以下「第二回取扱広告」）の掲載がはじまる（『中外』1889.4.28、4.30、5.8、5.9）。それぞれが自社名のみで掲載した「第一回取扱広告」とは異なり、大阪朝日新聞社、大阪毎日新聞社、東雲新聞社、大坂公論社、神戸又新日報社、日出新聞社、京都日報社、中外電報社の連名による広告であった。後述のように、『大阪朝日新聞』もこの8社名での「第二回取扱広告」を載せており、半年間の活動を通し、新聞社相互の動向、あるいは結集の意義の認識が進んだことがうかがわれる。

最後に、キリスト教関係については「伏見基督教講義所信徒」からの一件がみられる程度であることを指摘しておこう（『中外』『日出』1889.2.14）。

2 滋賀県での活動

新島襄は、「明治専門学校」以来の京都府下寄附金募集は、北垣国道知事や

府会議員の力があってこそ可能であったことをよく認識していた。彼は、「ナショナル」な「大学」設立のための募金を開始すると、「県会ニインテレストヲクリエート致し、随而全県下ニ波及セシメ全県下之問題トなし度候」と述べ、各府県会に接触する具体策を練っていく⁽¹²⁾。

新島の大学設立義捐金募集運動のブレーンが徳富蘇峰であるならば、実働部隊の役割を果たしたのは、何といても金森通倫であった。金森が府県会への働きかけ役となったことは、「日誌」や書簡類のみならず、新聞紙上でも多く確認できる。『中外電報』『日出新聞』の記事からは、従来知られなかった奈良県における知事・書記官・県会議員への働きかけも判明するが（『日出』1888.12.18）、典型的な成功パターンとして、両紙の販路である滋賀県での事態の推移をここで記しておこう。

1888年12月11日、金森は寄附金募集のために大津湖岸共楽亭に有志者を集め、設立の趣意を演説したところ、園田・小野両書記官、片岡警部長、武久大津警察署長、各課長、高橋歩兵第九連隊、大津衛戎の各士官、濱野師範学校長、上野商業学校長、新聞社員、中西滋賀郡長、県会議員、戸長、そのほか大津市街の主だった人物、総計40余名が集まった。ただし県会議員が4名に過ぎなかったので、中小路与平治県会議長は、明日議事堂にて演述してはどうかと促した（「同志社大学設立寄附金募集の遊説」『日出』1888.12.13）。13日になって金森は県会に顔を出し、中小路議長の承認を得て県会議員控え所で演説した（「大学校設立の演説」『東雲』1888.12.14）。その結果、議員のうち馬場新三、弘世助三郎、西川重威、井狩彌左衛門、高田義助、中山勘三、中小路与平治、磯野源兵衛、磯野亀吉、鶴飼退蔵、高井作右衛門はそれぞれ5円、藤野辰次郎、八田四郎治がそれぞれ2円を寄附し、「同志社大学創立賛成員」として、同意者募集に尽力することを承諾した。また、大津市街での募金については、3名の戸長と高屋光雄が担当することになった（「同志社大学設立の賛成」『日出』1888.12.15、「同志社大学設立の賛成者」『中外』1888.12.15）。

金森は滋賀県でこのような成果を得た上で、次の活動地・名古屋に向かった。『中外電報』は滋賀県議について、「中には耶蘇教の何たるを辨へずして忌避するの徒もありとか」と、同志社・キリスト教の側に立ってこれを報じている。

II 大阪——『大阪朝日新聞』『大阪毎日新聞』『東雲新聞』

1 募金の実態

大阪は募金活動が困難な地であった。府会は「随分冷淡ナリ」⁽¹³⁾、府知事の建野郷三に関しても期待薄という感触を得ていた新島や金森にとって、新聞社の協力は頼みの綱であったと考えられる。⁽¹⁴⁾

『大阪朝日新聞』・『大阪毎日新聞』・『東雲新聞』の大阪発行三紙はすべて、同志社の義捐金募集運動を支援した。「第一回募金」の開始に際しては、金森通倫が中之島洗心館に各新聞社の記者を招いて会合をもった。徳富猪一郎も臨席し、『(大阪)朝日新聞』からは関徳、『大阪毎日新聞』の柴四朗（東海散士）、『東雲新聞』は中江兆民・栗原亮一・江口三省、といった錚々たるメンバーが参集した（「金森氏の招筵」『東雲』1888.11.16）。

ところが現実には、この三紙の募金事業への関わり方は相当異なっていた。あらかじめ述べておくならば、もっとも協力的に対応したのが『大阪朝日新聞』であり、『大阪毎日新聞』と『東雲新聞』は、それぞれ独特な姿勢をみせながらも、結果的にはさしたる募金実績を挙げなかった。また『大阪朝日新聞』に集まった義捐金も、I章で検討した京都の新聞社のそれとは別種の特徴を備えていた。以下、具体的にみていこう。

1888年5月3日の時点ですでに新島は、陸奥宗光の紹介により、朝日新聞社長村山竜平の訪問を得ていた（「出遊記」）。『(大阪)朝日新聞』は11月7日、新島の大学設立計画を伝え、附録として「同志社大学設立の旨意」を公にし、単独社名にて発した「第一回取扱広告」は、翌月まで繰り返して掲載された

(『大朝』 11.7、11.17、11.29、12.5)。

本紙に寄せられた義捐金の実態は、「総覧」⑨に挙げたとおりである。

一見して明らかなのは、京都とは異なり、本紙が大阪府下からの拠金を集める媒体として機能したわけではないことである。とりわけ、区部・郡部ともに、個別的な拠金はないわけではないが、集団での寄附金がまったくみられない。その代わりに、近畿から中国・四国にかけての地域的な義捐金が主となっており、特に摂津～播磨～備前～備中～備後～安芸といった山陽道が目立つ。

地域の有力者の一例を挙げよう。岡田胖十郎は広島県会議員も務めた人物であるが、甲奴郡上下村からの拠金を取りまとめたとみられる (『大朝』 1889.4.12)。彼の娘は神戸女学院で学び、田山花袋『蒲団』のヒロインのモデルともなる岡田美知代である。そのほか芸州竹原の酒造業を営む竹鶴家からの寄附もある (『大朝』 1889.4.3)。

また『大阪朝日新聞』は、教会員による集団義捐の宛先ともなっており、笠岡教会からの寄附が記されている (『大朝』 1889.4.24)。本紙上、最高額の20円を寄附したのは石田庄三郎であるが、紙上に明記されないものの、明石郡の面々には彼を含めた明石教会員が存在する⁽¹⁵⁾ (『大朝』 1889.1.27)。しかし、1889年4月10日、大阪青年会館で開かれた大阪府下諸教会の会合に際して、新島は宮川経輝に託し、大阪府下各教会の募金担当者に尽力奔走を依頼する書簡を送ったというが (『日誌』)、そこに挙がる担当者「松浦・安藤・新田・望月・増野・本間・亀山」の名は「総覧」に見当たらない。大阪の教会については、うまく新聞への募金に結びつかなかった可能性がある。

『大阪朝日新聞』は、4月11日に「第一回取扱広告」を再度掲載し、24、25日には、締切が月末であると念押しし、その後は取り扱わないことを予告した。だが翌月に入ると、京都中外電報社、日出新聞社、京都日報社、神戸又新日報社、大阪毎日新聞社、東雲新聞社、大阪公論社、大阪朝日新聞社の京阪神8社連名による「同志社大学第二回義捐金募集」の広告を公にし (『大朝』 1889.5.

1)、引き続き募金の窓口となっていく。二回目の募金取り扱いと広告掲載は、大阪の新聞社に対する新島からの間接的な依頼だったようだ（『日誌』）。

2 支援の実相

一方、『大阪毎日新聞』であるが、1889年11月21日には「私立大学」のタイトルで記事を書き、同志社への「同志の賛助」を呼びかけた。従来の我国の大学は常に政府と一体の方向を取っているが、教育の本領はなるべく政府から独立したものであるべきとの見解に、援助の正当性が求められている。これに応じたものか、翌日には新島から柴四朗に一書が送られ（『日誌』）、「第一回取扱広告」は11月27日に単独社名にて掲載された。だが、「同志社大学設立の旨意」の掲載がみられない。

そして実際の義捐金も、「総覧」⑧にみるごとく、それほど集まっていない。額の多さからみて工部大学校卒の技術者原田虎三が音頭取りを務めたのであろう、大阪商船会社からの集団拠金が目を引く程度である（『大毎』1889.3.5）。

続いて『東雲新聞』について検討しよう。中江兆民による同志社の大学設立運動への肩入れはよく知られてきたところである。ここでは深く立ち入らないが、1889年の春からすでに「私立学校」設立の意義を説き、同志社についても好意的な論陣を張っていた。⁽¹⁶⁾同志社の大学設立運動が始まると、さっそうく11月7日には、「私立大学」のタイトルでこれを報道している。『東雲新聞』復刻版には収録されていないが、「同志社大学設立の旨意」も附録として添えたといい、その後も、官立学校に対する私立の意義を説き、同志社を支援する立場からの社説的文章が続く（「同志社私立大学設立ノ計画」「又同志社私立大学ノ設」『東雲』1888.11.14、11.15）。

ところが『東雲新聞』には、「第一回募金」開始の段階より、「取扱広告」が一切見当たらない。にもかかわらず東雲新聞社は、他紙掲載の「取扱広告」には、募金受付窓口として列挙され続けた。ここに社名を連ねることは、実際に

募金を受け付けるか否かというよりも、同志社の運動を支援しているという姿勢の表明としての意味をもったのであろう。

要するに『東雲新聞』は、政論紙として同志社を思想的に支援することに徹し、実は募金の受付窓口となって事務的な汗をかくことはなかった新聞だといえることができる。したがって同紙には、送金者のリストが載ることもなかったわけである。

官立学校に対する私立学校の意義を重視する点において、『大阪毎日新聞』は『東雲新聞』に同調し、同志社の動きに支援の姿勢をみせていたといえる。しかし同紙は2月下旬以降、慶応義塾の大学設立運動の方に気を取られていくように見える（「私立大学亦興らんとす」「慶応義塾の改良」『大毎』1889.2.11、3.8・3.9）。

慶応義塾についての報道は、京都や神戸の新聞（「慶応義塾大学設置の事」『中外』1889.3.9、「慶応義塾学資募集事務所」『又新』1889.3.16）や大阪の他紙にも見られ（「慶応義塾の大学組織」「学資募集事務所」『大朝』1889.3.8、3.16、「慶応義塾の改良」『東雲』1889.3.8）、異例なことではない。

大学設立の意図や募金の要領を記した「慶応義塾資本金募集の趣旨」を載せたのは、京阪神の諸紙のなかでは『大阪毎日新聞』と『東雲新聞』であるが（いずれも1889.3.8）、先方から送付されてきたことを契機としている。『東雲新聞』は、かようなものが送られてきたと報道し原文を収載しただけである。しかし『大阪毎日新聞』は、協力の呼びかけには至らないものの、前月や翌日の上記記事において慶応の歴史や実態を詳解し、「同塾の如き今更ら称揚の詞を須るんも愚か」と評価した上で、「吾輩は其設計の速かに成て純然たる私立大学の一日も早く我邦に生出」することを期待するとの長文を披露している。この期に及び、慶応義塾の活動の方を応援している印象が強まってくる。

『大阪毎日新聞』は1889年3月末、5月より半年間の第二回募集が行われるらしいと一応報じており（「同志社大学」『大毎』1889.4.28）、「第二回取扱広

告」にも名を連ね続けているから、同志社への支援姿勢を失ったわけではなかったと思われる。ただ、同志社については、「同志社大学設立の旨意」の掲載もなく関連の報道もわずかであったのに対し、慶応に関する報道には主体性と具体性が感じられる。

III 神戸——『神戸又新日報』

1 募金の実態

『神戸又新日報』も、1888年11月7日に「第一回取扱広告」を掲載し、「同志社大学設立の旨意」を附録とすることを報じた。以後、単独社名での広告が度々紙面に登場する。

発行元の五州社は、すでに京都看病婦学校設立に関わって、義捐金受付窓口を引き受けた前歴を有した。⁽¹⁷⁾ 大学設立運動の2年ほど前にあたる1886年9月中旬から、神戸教会の川本泰年・木村強・小磯吉人とともに募金主体となり、連日のように募集広告を掲載した。これは京都や大阪の新聞には見られない神戸独特の動きであった。総額150円以上が集まったとされ、信徒のみならず、兵庫県の内海忠勝知事や県吏の牧野伸顕、県会議員らの寄附も受け付けた。

大学設立運動に際しても、北垣国道京都府知事より内海知事への紹介状が与えられており、⁽¹⁸⁾ 12月5日には、新島が五州社主筆の村上定に徳島県遊説を頼んでいた（『日誌』）。兵庫県下における県当局や新聞社との連携の道はすでに敷かれていたと考えてよいだろう。

1888年12月2日には、県会議員の石田貫之助・鹿島秀麿・内藤利八の三名が主唱者となり、県議80余名から同志を募って同志社大学校への寄附金実施に関する協議をもったという。前日に県会閉場後の議事堂において、金森が40分ばかり大学設立の趣旨を演説したことがきっかけとなっている（『同志大学の寄附金』^(ママ)「同志者大学校寄附金の事」『又新』1888.12.1、12.2）。兵庫県会に限ら

ず、県議に向けた金森の演説は、議会の前後や控室にて行うよう配慮がなされている。だがこの記事によると、兵庫県会の名で寄附するか有志者の寄附とするかが議論されたという。前者の可能性が本当に探られており、万が一実現したならば、私立学校の設立を公的機関が支援表明するという興味深い事態が出現したことになる。

このような議論が起こった背景として、「主唱者」の一人とされる石田が県会議長であったことが大きいだろう。彼は『神戸又新日報』の創刊にも関わった人物であり、県会議員と新聞社との連携による神戸の同志社支援態勢がうかがわれる。なお鹿島秀麿は民権派のジャーナリストとしても知られ新島ともすでに交流があり、内藤利八は神崎郡の有力者であった。⁽¹⁹⁾ 1888年12月24日、この三名は郡部の姓名簿を渡されていた（「日誌」）。

一方、キリスト教界に対する活動として、1889年1月28日、拠金を呼びかける演説会が神戸教会において行われた。従来、「日誌」記事から、演説したのは金森と宮川だとされてきたが、新島自身も病身をおして演壇に立っている（「同志社大学設立演説」「同志社大学演説会」『又新』1889.1.26、1.30、「同志社大学演説会」『基督教』1889.1.30）。

以上のような点を指摘していくと、兵庫県下の募金活動は、順調に進む条件を備えていたようにみえるが、新島は1889年4月15日になって、内海知事が自身の名による集会開催を承知せず「神戸之運動ハ甚覺束無ク存シ大ニ困却仕居候」と述べている。⁽²⁰⁾ 果たしてその義捐実態はいかなるものであっただろうか。

「総覧」⑩にみるように、大口寄附者が多い神戸商人（今井太左衛門、今井善兵衛、マッチ製造の鳴行社を経営した播磨幸七など）、多聞教会小林茂兵衛・兵庫教会山田良齋・神戸教会永見（良明か）等々の教会関係者、まとまった義捐金を送った神戸英和女学校（後の神戸女学院）生徒86名などがある。そして何と言っても、神戸教会員で赤心社を興した鈴木清の100円が目立つが（『又新』1889.4.23）、これは1月28日の演説会ですでに当人が申し込んでいた

ものである（「日誌」）。

額はともあれ、寄附のペースという点から見ると、1889年3月の末に至るまでは低調だったということができる。てこ入れを図るべく、1889年4月2、3日と、兵庫県下の7教会（神戸・三田・兵庫・多門・明石・西宮・姫路）の会員が春期親睦会を開いた。金森は、150～160円の寄附申し込み額について、信徒にしてこの冷淡さとは、と嘆いている⁽²¹⁾。この場では、義捐金募集に尽力するための協議が行われ、長田時行が関東へ、川本政之介が四国・中国地方へ派遣されることになった（「同志大学義捐金奨励の檄文」『又新』1889.4.12）。また、以下のような各地の教会宛文書が作成された。初出と思われるので全文を引用する。

拝啓仕候。貴教会天父恩寵の下に益々御昌栄の段奉拝賀候。叉手、曩に京都同志社学院院長新島襄氏、多年の宿志を開陳し私立大学設立の企図を全天下に訴られしより、四方有志の徒、大に此美学を贊助し、各地重立たる新聞社に於ても率先して寄附金募集の労を取りたるは、実に我儕の慶賀して止まざる処に御座候。然るに寄附金締切期限は將に本月を以て終らんとするも、新聞紙上寄附金を報ずる事実に僅々曉天の星の如きを見れば、吾儕復大に憂ひて我が国の生命の府源は之を何処に求めんか、百年の大計を企図せる新島氏の宿志は何時達せらる可きかと慨歎するの外無之候。乍併退て此大学に最も謹慎の緣故ある、殊に社会の生命となり我国を救済するの責を以て自ら任する我儕基督信者にして大学設立の事を思ふの切ならざる、口に之を贊助するも行に於て之を實にする事の薄きを顧みれば、赧顔の至に堪へず。何卒奮起して自ら其責を尽し、且世の注意を惹起せん事と願ひ居候処、幸にして本月二、三、の両日、兵庫県下七教会春期親睦会を神戸の地に開くに逢ひ、来会の委員等相謀りて七教会各自奮て寄附金の募集に応じ、且此精神を全国諸教会に告げて共に此至重至要なる大業の為

に尽力せん事を決議仕候。是全く神の佑助による事と感謝の外無之候。今寄附金締切期限の将に終らんとするにも係らず、捐金者の新聞紙上に顕はるゝ者尠なき理由を考ふるに、人々全く賛成の意なきにあらず、風潮を窺ふて躊躇する者多きによると被察候。此際我等信者相率ひて応分の金を投し、仮令少額と雖も羅列して新聞紙上に登録しなば、一は以て天下の人心を喚起し一は我等の義務を尽し、一挙兩得実に見失ふ可らざるの機会に御座候。七教会の委員等之を思ひ、退ては各自の教会を励し進ては全国の諸教会と偕に此事に尽力せん事を希望致候。今其決議によりて鄙書を貴教会に呈す。願くは各員此機会を失はず、相奮て大学創立の鴻業を助けられんことを。匆々頓首

この書簡は4月17日の『基督教新聞』にも掲載されており、こちらには「委員」名での文責が入っている。神戸教会委員の大林久造と瀬戸保兵衛、三田教会委員の近藤武雄と若林元昌、兵庫教会委員の三島彊と山田良齋、多聞教会委員の小林茂兵衛と川道雅彦、明石教会委員の鈴木武と竹内束、西宮教会委員の豊崎總平と田原安太郎、姫路教会委員の井上恒二と永井尚古、そして村上俊吉・長田時行・川本政之介・二階堂圓造・阿部政恒、以上19名から各教会宛、4月付である。

この集会後、三田教会から11名6円25銭（『又新』1889.4.25）、姫路教会から23名79円（『又新』1889.4.28）というまとまった寄附が得られた。この額の違いは、最高額が若林元昌の2円という三田とは異なって、姫路には桑野源蔵の50円など、数名の大口寄附者がいることに起因しよう。

1889年4月27日、『神戸又新日報』は募金の締切と「第二回募金」の実施を報じ、30日に単独社名での「第二回取扱広告」を社告として掲載するに至る。

2 岡山県での活動

『神戸又新日報』には、岡山県における金森通倫の活動に関する報道がある。金森は岡山県会議員一同に対して大学校設立に賛成するよう依頼し、議員それぞれが分担して各郡で募集をかけることになった。これらを市中に設置する「同志社大学寄附金取扱所」にてとりまとめ、同志社に送ることになり、その役は県会正副議長・常置委員が担任したとある（「岡山県会同志社大学を賛成す」『又新』1888.12.6）。岡山県においても県会の協力姿勢が確認できる。

岡山県で発行される『山陽新報』は、京都看病婦学校設立時に協力的な報道をみせた地方紙であった。⁽²²⁾ところが、その折の姿勢とはうって変わり、同紙が大学設立義捐金の受付窓口になることはなかった。金森が県会の休憩中に大学設置の主旨を述べに来て議員の賛成を乞うたことの報道のみがあるが（「同志社大学」『山陽』1888.12.4）、「同社の某」と記されるだけで、姓の特定もないという冷たい報道ぶりである。

年が明けると、在阪の新聞同様、慶応義塾の動きを報じる。同志社の運動に関わる報道より頻度が高く詳細で（「慶応義塾」「慶応義塾資本金の募集」「慶応義塾学資募集事務所」『山陽』1889.2.21、3.9、3.16）、以下のような比較に基づく同志社への揶揄まで登場する（「後の雁前に行く」『山陽』1889.4.21）。

私立大学設立の事は西に同志社あり東に慶応義塾あり。同志社は既に早く世に広告して今や寄附金を各所に募りつつあり。慶応義塾も私立大学を設立せんとの趣意を世に公にせしは後の雁なれども、流石に三十年来教育に力を用ひ其門下より出でし人も少からねば、今日の勢ひにては前に行くの景況なりといふ。謙遜なる基督教徒は甘んじて後に行くべきか。

アメリカン・ボードの活動が盛んであった岡山県には、同志社の大学設立を支援する潜在的な勢力が存したはずだが、『山陽新報』がそれを反映する、あ

るいは掘り起こすということはなかった。地域の支援の意志は、直接同志社本体が、あるいは京阪神を中心とした別の新聞社が受け止めることになったものと推察される。

おわりに

「第一回募金」が締め切られた段階で、新聞社ごとの集金高が公表された。⁽²³⁾それによると、京阪神各新聞社の実績は以下のとおりである——中外電報社および日出新聞社：391円70銭、大阪毎日新聞社：50円80銭、大阪朝日新聞社：563円32銭5厘、神戸又新日報社：612円98銭。

「スケッチ」に示したように、東京においてもっとも多くの金額を集めたのは、125円の『毎日新聞』であり、北海道や福岡県にてそれ以上に奮闘した『北海道毎日新聞』や『福岡日日新聞』もそれぞれ226円、170円であるから、京都・大阪・神戸ともに、これを大きく上回る拠金を受け付けたことになる。

新聞社を窓口とする募金の実施は、「プロウキンシアル」ではなく「ナショナル」⁽²⁴⁾な学校設立運動を目指した徳富蘇峰が仕掛けた方策であったが、その際の「プロウキンシアル」が「京都府」を意味していたのならば、彼の意図は方向として達成されたといえよう。しかし京阪神一帯という意味においては、この義捐金はまだまだ「プロウキンシアル」な性格を有するものであった。

最後に、本稿で明らかになった京阪神各紙と同志社大学設立義捐金募集運動（「第一回募金」）との関係の特質をまとめておこう。

京都の『中外電報』『日出新聞』は、特に地域の有力者が中心となった郡部からの集団寄附の窓口として機能した。キリスト教勢力の拠金は直接同志社本体がすくい上げたということなのか、新聞と連動していない。府下拠金の流れについては、今後「義捐金募集関係帳簿」とつき合わせ、総合的な検討を進める必要がある。

『大阪朝日新聞』は、京都の新聞とは対照的である。「大阪府の地方紙」というよりも、「西日本の新聞」として広域から拠金を集め、「第一回募金」に貢献した。その達成額は、京都の二紙が集めた額より150円以上も多い。

一方、『大阪毎日新聞』の成果は、『大阪朝日新聞』のわずか十分の一以下にとどまった。京阪神の新聞社のなかでは、反「官」の姿勢と地域的つながりに基づく「お付き合い」の性格が一番強く、東の『郵便報知新聞』がそうであったように、慶応義塾の大学設立運動が起こると、そちらにより強い共感を覚えていく傾向をもったと考えられる。

『東雲新聞』は、同志社支持派のオピニオンリーダーであった。なぜ同志社の「私立大学」設立計画が支援に価するか、論理的に示していく点においては出色の存在であった。その姿勢は、慶応義塾による同種の運動が開始されても崩れなかった。しかし、新島が現実面で欲したであろう資金調達という点においては、直接の戦力とならなかった——いかにも兆民らしいとみるべきか——というユニークさを有したといえよう。

そして『神戸又新日報』であるが、その特徴は、キリスト教勢力との関係の深さに求められる。教会内の催しや議論がしばしば報じられるだけでなく、そこでの作成文書が全文掲載されるなどということは、京都や大阪の新聞ではほぼ想像できない。諸教会員の拠金を受け付けたということだけならば、先に見た『大阪朝日新聞』も同じであったが、それは大阪という地元社会からの拠金ではなかった。神戸の場合には、地域内での議会—社会—教会—新聞社の連携が見て取れるのではないか。

「はじめに」で記したように、警醒社に寄せられたキリスト教勢力による寄附金についての検討、そして先に述べた「義捐金募集関係帳簿」との照合という面倒な作業、また「第二回募金」以降の動向の検討など、「大学設立義捐金募集運動」をめぐる残された課題は限りない。後日を期して搁筆する。

- (1) 『新島研究』第106号、2015年所収。
- (2) 現在所蔵が明らかな「明治専門学校義捐金姓名簿」6冊、「同志社大学義捐者県別姓名簿」、「同志社大学義捐者姓名簿」「同志社大学義捐金姓名帳 第二回募集ノ分」「同志社大学義捐金者名簿」を総称し、このように表記することとする。
- (3) 『同志社百年史』通史編一（1979年）の第九章「大学設立義捐金募集運動」。杉井の研究の意義を含め、全体的な研究史の整理は、「スケッチ」の「はじめに」に記しているので、ここでは最低限にとどめた。
- (4) 『朝日新聞』は、『東京朝日新聞』が発刊された後、1889年1月3日より『大阪朝日新聞』に社名を変更した。本稿では、『朝日新聞』を名乗った1888年中の2ヶ月ほどに関しても、便宜的に『大阪朝日新聞』と一括表記する。
- (5) 京阪神ではおりしも、『大坂公論』が1889年1月3日に、『京都日報』が1889年3月10日に創刊され、5月に開始された第二回義捐金募集（11月30日期限）以降は、取扱窓口に加わっている。今回は「第一回募金」のみに着目したので割愛した。『大坂公論』はほとんど残存しないので無理であるが、『京都日報』については、後日あらためて検討してみたい。
- (6) 太田雅夫「同志社大学設立運動」『新島襄とその周辺』（青山社、2007年）2章所収。なお『新島襄全集』編纂に際しては、今回取り上げる紙面のなかでは、『東雲新聞』に加え『基督教新聞』が部分的に参照され、注(8)の年譜作成に生かされたようである。
- (7) 『新島襄全集』5日記・紀行編（同朋舎出版、1984年）所収。「日誌」は『同志社百年史』資料編一（1979年）も収録。
- (8) 『新島襄全集』8年譜編（同朋舎出版、1992年）。なお、本稿ではたびたび、運動の経緯に関わる事実の典拠を『新島襄全集』所収の諸史料に求めているが、それらは「年譜」を参照することで行きあたったに過ぎず、「年譜」に負うところ大であることを断っておきたい。
- (9) 京都府の府会議員については、京都府議会議務局編『京都府議会歴代議員録』（1961年）にて経歴の確認を行った。
- (10) 『朝野新聞』の「私立大学の義捐金」と題する記事で（1889.1.1）、新島やキリスト教とまったく関係のない北海道の篤志家が、新島の志望に感銘を受け、毎年の寄附や息子を同志社に入学させることを願い出た寄書を掲載したもの。「スケッチ」参照。
- (11) 例えば日向諸縣郡の上田周策による100円寄附の約束、京都府警察官一同からの100円、北海道からの刀一振、岡山や福井の有力者、後述する滋賀県の県議らの送金等々が報じられている。

- (12) 1888年12月5、6日付新島襄より徳富蘇峰宛書簡（『新島襄全集』3書簡編Ⅰ、同朋舎出版、1987年）。「ナショナル」な「大学」設立募金への展開の必要を述べたのは徳富である。1888年3月24日付徳富蘇峰より新島襄宛書簡（『新島襄全集』9来簡編〈上〉、同朋舎出版、1994年所収）参照。
- (13) 前注新島襄より徳富蘇峰宛書簡。
- (14) 1889年1月18日、2月28日、4月10日付金森通倫より新島襄宛書簡（前掲『新島襄全集』9〈下〉所収）など。
- (15) 日本組合明石基督教会『一粒の麦 創立五拾年口碑史』（1928年）所収の「組合一覧」によれば、湊謙一・湊まきが教会員である。
- (16) これらについては、兆民研究の立場からの先行研究もふまえ、機会を得て別途考察したい。なお前掲太田論文にて、同志社関連記事のリストアップが試みられている。
- (17) 以下、拙稿「京都看病婦学校開設運動の再検討 ―地域の支持形態に着目して」（『キリスト教社会問題研究』第61号、2013年）を参照。
- (18) 1888年9月27日付金森通倫より新島襄宛書簡（前掲『新島襄全集』9〈上〉所収）。
- (19) 以上、兵庫県の県会議員については、衆議院・参議院編『議会制度百年史 衆議院議員名鑑』（大蔵省印刷局、1990年）を参照。「日誌」において新島は、鹿島について「神戸江場社（政友）」と注記しており、11月半ばに謝礼状を送っている。
- (20) 1889年4月15日付新島襄より井上馨宛書簡（『新島襄全集』4書簡編Ⅱ、同朋舎出版、1989年所収）。
- (21) 1889年4月11日付金森通倫より新島襄宛書簡（前掲『新島襄全集』9〈下〉所収）。
- (22) 注(17)拙稿参照。
- (23) 「新島遺品庫」史料番号下2055a。『同志社百年史』資料編一（1979年）にも所収。この報告は、『毎日新聞』『東京輿論新誌』などにも掲載された。なおこの時点で、直接同志社に集まった金額は5510円95銭7厘と報告されている。
- (24) 注(12)徳富蘇峰書簡参照。

（第18期第1研究会による成果）

「第一回同志社大学義捐金」新聞雑誌別総覧 凡例

- 本表は、「第一回募金」(1888.11～1889.4)の取扱窓口となった新聞雑誌(現存分)上に掲載された寄附者および寄附額の総覧表である。ただし抜群の実績を挙げた『国民之友』掲載分については、1500件以上の多数にわたること、『同志社百年史』通史編一第九章に摘記があることから、今回は省略した。『北海道毎日新聞』については、小枝弘和氏によるリストアップが存在するので(『新島研究』第99号、2008年)、そちらを参照のこと。
- 「同志社大学義捐金第一回報告」に掲載された新聞雑誌社順をほぼ踏襲し、同報告に記載のない地方紙をその後に並べた。すなわち、①『毎日新聞』②『郵便報知新聞』③『朝野新聞』④『改進黨』⑤『東京經濟雑誌』⑥『基督教新聞』⑦『女学雑誌』⑧『大阪毎日新聞』⑨『大阪朝日新聞』⑩『神戸又新日報』⑪『中外電報』⑫『日出新聞』⑬『海南新聞』⑭『土陽新聞』⑮『福岡日日新聞』である。
- 『中外電報』『日出新聞』には、ほぼ同一の情報が掲載されているので一括した。両者の記載が異なる場合は、『中外電報』のそれを優先し、『日出新聞』の記載は〔 〕に入れて示した。
- 日付は、寄附情報を記した紙誌面の発行日である。
- 「寄附額」欄の単位は円で、小数点以下銭、厘である。
- 旧国名など、紙誌上の表記を極力そのまま転記し、修正加筆箇所や注記は〔 〕にて示した。
- 旧字体は原則的に新字体に直したが、氏名・地名に関しては旧字体をそのまま記した。
- 史料の状態により判読できなかった箇所は■で示した。

「第一回同志社大学義捐金」新聞雑誌別総覧

①毎日新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.11.25	0.5		河合繁右衛門
	0.1		山下謙之進
	1		中川永輝
	0.1		中追岩次郎
	0.1		米田生
	0.1		遠藤生
1888.11.28	5		廣谷六郎
	1	上州吾妻郡應桑村	黒嶽有哉
1889.1.12	2	上州高崎田町	田中芳三郎
	1	同	小澤兼吉
	1	同	吉川鶴彦
	1	同山田町	相良孝造
	0.5	同赤坂町	小泉和四郎
1889.1.24	2.35	三重県南牟婁郡私立教育会員	福喜多繁 金原義賀彦 山田音松 糸川陽一 諸岩義太郎 ■谷信助 金子条之助 森本増次郎 小林三郎 西勝三郎 宇井良彦 西熊太郎 山田峰松 西馬太郎 小野千代松 岸口常三郎 福村五郎吉 榎本宇之助
1889.2.3	2	上野国利根郡沼田町	利根川孫六
	0.2		宮寺金十郎
	1		岸田恭謙
	0.1		熊澤怡一郎
	0.1		大村一
	0.1		池田孝子
	0.1		岡林多喜夫
	0.1		森島順之助
	0.5		牧清次郎
	0.2		雨森新六
	0.5		辻鉦三郎
	0.1		鈴木榮次郎
	0.2		福田誠内
	0.1		服部卯三郎
	0.1		林律平
	0.1		齋藤國太郎
	0.1		朝倉巖
	0.5		廣瀬久明
	0.2		山縣辰次郎
	5	同郡同町基督教信者	石井不二太郎
	0.5	同	高橋ハル
	0.15	同	高橋メーラー
	1	同	船戸■造
	0.2	同	高橋ノブ
	1	同郡羽場村	田村柳助
	0.2	同郡新巻村	丹下鎮象
	0.2	同郡井土上村	井上八宗司
	1	同郡摺淵村	星野勇吉

	1	同郡真庭村	真庭塙之助
	1	同	真庭治兵衛
	0.5	同	降屋虎雄
	0.2	同	帶田金三郎
	0.2	同	真庭鉄丸
	0.1	同	真庭衆吉
	0.1	同郡政所村	小野利兵衛
	0.1	同	昌澤儀助
	0.2	同	増田正太郎
	0.1	同	星野麗太
	0.2	同郡師村	高橋豊吉
	0.1	同	金子和太吉
	0.05	同	高橋衆太郎
	0.2	同郡後閑村	増田年秋
	0.1	同	櫛淵儀左衛門
	0.1	同	高橋平治兵衛
	0.2	同	櫛淵金兵衛
	2.35	三重県南牟婁郡	木本私立教育会員 〔1.24と同じカ〕
1889.2.9	20	上州高崎本町	藤巻喜兵衛
	10	同中紺屋町	岡本六左衛門
	10	同	岡本英三郎
	10	同	岡本茂三郎
	5	同本町	松下堅二
	4.1	同	福田福太郎
	3	同田町	大谷三右衛門
	2	同本町	伊藤源助
	1	同宮本町	松本知常
	0.5	同	同モト
	0.5	同	飯野東太郎
	0.5	同若松町	佐藤兵吉
	0.5	同新喜町	飯野三太郎
	0.5	同龍見町	原田種
	0.5	同中紺屋町	萩原容民
	0.2	同宮本町	飯野八三郎
	0.2	同	飯野辰三
	0.2	同	飯野啓之助
	0.2	同	飯野桂樹
	0.2	同	塚田亀吉
	0.2	同田町	筒井清吉
	0.2	同中紺屋町	高橋利七
	0.2	同本町	山野井金之助
	0.2	同	五十嵐タケ
	0.1	同	松川賢三郎
	0.1	同	皆川善太郎
	0.1	同九蔵町	小山嘉十郎
	0.1	武州榛澤郡高島村	中山郁四郎
	0.2	上州佐位郡木島村	小暮勝太郎

	0.5	羽后山本郡向能代村	岸部易太郎
1889.3.3	1		第一高等学校英予科 三級二の組有志者寄附
1889.4.7	2	上州前橋連雀町	井上廣佐
1889.4.21	0.5	福島県大沼郡永井野村	高橋勇造
	0.5	同西尾村	長嶺登一郎
	0.5	同	土屋重正他二名
	0.3	同	高宮祐光他二名
	0.3	同	坂内綱五郎
	0.3	同	吉田勝吉
	0.2	同	川島力馬
	0.2	同	佐竹重郎
	0.2	同	長沼明寛
	0.2	同	福島徳三郎
	0.1	同	杉原八三郎
	0.1	同	杉原留吉
	0.15	同	杉原貞蔵
1889.5.1	2		森為國
	0.5		河野寅次郎
	1		坂田孫四郎
	1		池本吉治
	1		内田考忠
	1		城重雄
1889.5.24	10	横浜	大星平子
②郵便報知新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.11.28	1		八代謹之助
	0.1	大分	松野勝太郎
	1		箕浦勝人
	1		加藤政之助
	1		小栗貞雄
	1		森田文蔵
	1		飯田良作
1888.12.7	1	陸奥鮎ヶ澤病院	長谷川有造
	0.5		多湖徳次郎
1888.12.12	2.9	第二高等学校有志生徒	関皆治 新庄新蔵 玉 虫一郎一 葛蔵治 石 川綾治 関口環 波多 野高吉 高橋達太郎 板垣政一 田所美治 亀井甲子蔵 佐藤與三 白井信吉 玉木幸治 大石豊馬 松田利吉 高橋健治 井上準之助 高山林次郎 三浦菊太 郎 畔柳都太郎 星野 利吉 山谷平三郎 一 木修平 西村廣政 長 田忠一 石橋三郎 治 菅野真 中川清吉

1888.12.18	1	薩州鹿兒島春日小路	田原惣太郎
1889.1.29	11.65		富山県尋常中学校生徒 有志者一統
1889.4.3	3		群馬県佐位那波高等小 学校職員一同
③朝野新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.11.13	1	郷般町1丁目	谷崎久兵衛
	5		亡尺振八妻
	2		八木忠梧 田代福太郎 上野伊七郎 宮下三次 郎 岡本勸 松本幾太 郎 村松良助 木村永 世 竹内鏑三郎 水野 榮太郎 小林清助 中 村要吉 中村久兵衛 大城清太郎 島田福吉 渋谷保太郎 清水寛次 郎 簗嶋松之助 笹山 意平 大竹清次郎
1888.11.18	10.6		長野県尋常師範学校生 徒有志者
1889.5.3	1	山形県羽前米沢市	綱島哲
	1	同	古藤伝之丞
	0.5	同	池田成章
	0.5	同	高梨源五郎
	0.5	同	米沢義社員5名
	0.5	同	丸山孝一郎
	0.5	同	香坂茂右衛門
	0.5	同	岡田義實
	0.4	同	下條親英
	0.3	同	元商社員4名
	0.3	同	加勢清隆
	0.3	同	長清水
	0.3	同	平田駒太郎
	0.3	同	廣瀬禮蔵
	0.3	同	三段崎景德
	0.3	同	近新次郎
	0.3	同	鈴木千代吉
	0.2	同	私立米沢中学校
	0.2	同	棚橋方英
	0.2	同	島熊太郎
	0.2	同	高橋秀孝
	0.1	同	安部常五郎
	0.1	同	小黒源蔵
	0.1	同	窪田茂正
	0.1	同	櫻井半三郎
	0.1	同	岩井勇八
	0.1	同	下平忠明
	0.1	同	角永吉
	0.1	同	伊藤嘉猷
	0.1	同	湯野川忠國

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.1	同	村山美保助
	0.1	同	堀尾金彌
	0.1	同	南雲宅蔵
④改進黨新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.11.9	1	浅草猿屋町十七番地	岩淵英和
⑤東京経済雑誌			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1889.1.12	1	羽前国西置賜郡荒砥駅	小松源四郎
	10	本郷区駒込西片町	田口卯吉
	5	麴町区飯田町三丁目	伴直之助
	1	同区有楽町三丁目	望月二郎
1889.1.26	5	下野国足利郡小俣村	木村半兵衛
1889.3.2	0.5	備前国岡山山川崎町	建石多亀次郎
1889.4.27	5	群馬県山田郡桐生町第百九十七番地	R T M
1889.5.4	1	石川県金沢市十間町	森田宅次郎
⑥基督教新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.11.14	20		秦香舟
	50		小崎千代
	0.5		同菊代
	0.5		池本吉治
	0.5		竹越与三郎
	2.5		福永文之助
	1.5		小林萬吉
	0.5		柄本伊平
	0.5		小林徳太郎
	0.1		戸川副治
	0.2		鎌田力
	0.2		梶川甫
	0.1		伊東辰彦
1888.11.21	10	東京聖保羅教会員	大田惣吉
	5		群馬碓井馬車鉄道会社信徒一同
	2.85	東京築地	聖保羅教会
	1	同	池田平三郎
1888.11.28	1	東京築地新栄町	矢島己之助
	5	上州東上磯部村	萩原せい
	0.1	上州安中国光社内	田口まち
	0.1	同	森きん代

	0.1	同	岩田とへ
	0.1	同	坂東こま
	0.1	同	諸原やす
	0.1	同	野田くら
	0.1	同	吉田とよ
	0.1	同	松田とめ
	0.1	同	松田あい
	0.1	同	高木むら
	0.1	同	柴崎せき
	0.1	同	宮崎かと
	0.1	同	渡邊まさ
	0.1	同	坂本たつ
	0.1	同	高澤くめ
	0.1	同	川村まさ
	0.1	同	藤田ふよ
	0.1	同	三宅みつ
	0.1	同	真野くま
	0.1	同	高木かよ
	0.1	同	柴垣ゑつ
	0.1	同	土本とし
	0.2	同	乗村はな
	0.2	同	大田りう
	0.2	同	五十嵐たつ
	0.2	同	高橋かく
	0.3	同	安藤とし
	0.3	同	萩原いの
	0.3	同	中島しな
	1	同	横瀬よね
	0.1	同	北川和吉
	0.2	同	高山安太郎
	0.2	同	新野兼吉
	0.2	同	大熊之視
	0.2	同	曾江義三郎
	0.2	同	秋山幸三
	1	同	萩原貞作
	1	同	中島儀三郎
	0.5	東京第一基督教会	黒川つれ
	0.5	同	栗津ひさ
1888.12.12	2	東京麴町区	小崎繼憲
	1	同	岩谷季雄
	1	信州吉村	丸山吉太郎
	1.53.4		下谷一致教会安息日学校幼年生
	0.5	新潟県	清野いく
	0.1	同	清野耕平
1888.12.19	1.5	東京専門学校内	基督青年会有志者
		東京四谷区	中村一貫
		同麴町区	深谷郁郎
1888.12.26	1	東京牛込	山縣与根二
	0.2	同麴町	二宮哲三
	0.1	同	大塚馬三郎

1889.1.2	0.2	三重県一志郡 田尻村	金児藤太郎
	2	同井関村	上出又吉
	0.2	同波瀬村	中村彌太郎
	0.1	同同	小川三五郎
	2	同同	長谷川辰次郎
	0.1	同同	小畑平兵衛
	0.2	同同	徳田兵蔵
	0.1	同同	徳田祐太郎
	0.1	同同	小出鶴次郎
	0.1	同同	澤井長助
	0.1	同同	森八郎兵衛
	0.1	同同	中山浅平
	0.3	同小川村	酒井貞躬
	0.1	同田尻村	越山亀吉
	0.1	同波瀬村	廣田作治
	0.5	字都宮美以教 会	藤波寅吉
	0.5	佐久山教会	村上勘次郎
	0.3	同	信徒某
	0.1	上州尻高村	竹淵彌平次
	0.1	同	福田太平
	0.5	同	関美喜八
	5	同	有馬俊平
	0.1	同	松井萬録
	0.2	大塚村	吉田梅十郎
	0.2	同	奈良茂平次
	0.1	同	奈良織八
	0.1	同	吉田甚三郎
	0.2	同	吉田新三郎
	0.1	同	吉田里江
	0.1	尻高村	有馬むつ
	0.1	同	松井むつ
	0.1	同	松井とも
	0.1	同	関かく
	0.1	同	松井しう
	0.1	同	松井幸吉
	5	同	松井貫一
	0.4	同	田村喜十郎
	0.1	麴町区 (第2回)	大塚馬三郎
1889.1.16	6	紀州田邊	長老教会信徒
	5	下谷南大門町	猪俣吉平
	5	福岡	西村周三郎
	1	京橋北横町	岩間よし
1889.1.30	1	信州坂下美以 教会	小松熊太郎
	0.1	同	高木平蔵
	0.5	同	大竹牧師
	0.1	同	山岸力三郎
	0.5	同	内山磯五郎
	0.2	同	田中夏次郎
	0.1	同	北沢實次郎

	0.1	同	小澤定次郎
	0.1	同	高松
	0.1	同	坂本
1889.2.6	20	麻布今井町卅 四番地	工学士 小田川全之
	10	麴町区九段坂	鈴木真一
	0.1	備中笠岡仁王 堂町	桑田定吉
	2		財部弓・財部ケイ・財 部三秋・財部常
	0.1		高野安恒
	2		男子少年会
	1		女子少年会
	7.7		同会有志者
	0.5		村井一郎
	0.2		梯三男
	0.1		杉山鈺太郎
	0.1		黒川道治
	0.1		小尾富久三
	0.1		浦野丸吉
	1.1		瀧山勉
	10		和久山四郎・太田琴
1889.2.27	1	麴町区中六番 町	
	3		上州吾妻郡高等小学校 二年級
	0.3		無名氏
	0.5	信州	高遠教会
	0.2	同上伊郡西高 遠町	岡田和道
	0.2	同所	畑かね
	0.1	同所	岡田藩菊
	0.1	同所	金子金吾
1889.3.6	0.5	岡山県岡山山 大黒町	吉田金太郎
	0.2	霊南坂	野篠愛助
	1		河野虎衛
	0.75		紀州田邊基督教会信徒
1889.3.13	10		小登勇太郎
	0.2		同 直
	0.1		同 卓一
	5		渡邊譲三郎
	0.2		同 民
	0.1		同 舒
	1		無名
	0.5		杉本貫聖
	0.5		井口徳之
	0.2		柚木治三郎
	0.2		戸田キヌ
	0.1		守留辰三
	0.1		楠澤仙次郎
	0.1		浅野熊次郎
	0.1		河合三平
	0.1		永島新太郎

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.2	竹下松枝
	0.2	長谷川茂
	0.15	野尻銀久
	0.15	阪井澄男
	0.15	吉村キク
	0.1	水登又吉
	0.1	西村大元
	0.1	河村則正
	0.1	同 冬
	0.1	井関国待
	0.1	太田末松
	0.1	黒田柳
	0.1	島倉正喜
	0.1	大橋小太郎
	0.1	同 ルイ
	3	山縣南村山郡 上ノ山 小林省三
	0.2	小林重卿
	0.1	前田二郎
	0.1	鈴木政二郎
	0.1	京極茂記
	0.1	天野司
	0.1	中山ギン
	0.2	大岡ヨウ
	0.1	海野ヤマ
	0.1	小池侶之進
	0.1	後藤多橘
	0.3	吉川幸生
	0.1	秋葉友雄
	0.4	上野松治郎
	2	陸中国膽澤郡 金ヶ崎駅 坂本長三郎
	1	同 阿部普
	0.2	同 阿部じゅん
	0.1	同 河部波子
	0.5	同 坂本吉治
	0.5	同 相澤寛治
	0.5	同 添田今一郎
	0.3	同 高橋健治
	0.2	同 齋藤三右衛門
	0.2	同 千田嘉吉
	0.1	同 添田繁子
	0.1	同 細目寧子
	1	同 添田壽治
	0.5	同 細目退助
	0.5	同 佐藤忠治
	0.2	同 坂本祐之助
	0.2	同 千田彦太郎
	0.2	同 及川慶之助
	0.2	同 佐藤彌平太
1889.3.20	0.2	青森県南津軽 郡藤崎村 〔村からカ〕

	0.2	同 齋藤常次
	5	同 長谷川誠三
	0.2	同 加福嘉吉
	1	同 藤田舜疑
	2	同 佐藤勝三郎
	0.15	同 小山内克
	0.2	同 工藤年平
	0.1	同 棟方定次郎
	2	同 福井善助
	0.1	同 同県中津軽郡 弘前町 佐藤順次郎
	0.2	同 山内弘毅
	0.2	同 七戸定賢
	0.1	同 大沼左馬之輔
	0.2	同 同県南津軽郡 葛野村 三浦淳逸
	0.5	同 同郡藤崎村 佐々木勇蔵
	0.1	同 清水久助
	0.1	同 藤本茂作
	0.1	同 黒城茂一
	0.5	同 幸田伴七
	0.2	同 佐藤彌太郎
	0.5	同 清水理兵衛
	0.1	同 武田雄五郎
	0.1	同 同郡川部村 須藤惟一
	0.2	同 鈴木久之助
	0.1	同 村上虎之助
	0.1	同 工藤元助
	0.2	同 同郡藤越村 木村丑蔵
	0.1	同 佐藤金助
	0.1	同 樋口亀太郎
	0.1	同 同郡大根子村 中畑金蔵
	0.5	同 越後国古志郡 橡尾小学校内 野口竹次郎
	1	同 三輪喜四郎
	0.5	同 愛媛県周布郡 柄瀬村 佐伯浅次郎
	0.3	同 同長野村 兼須只平
	2	同 兼須鶴太郎
	0.5	同 金沢区茨木町 石上總三
	0.2	同 同上石引町 森田善司郎
	0.1	同 森田守角
	1.6	同 栃木足利町小 俣村 大竹家族
	1	同 桐生町 K.M.
	0.15	同 房州平郡保田 保田一致教会 角田亀太郎
	0.17	同 山野甚之助
	8.5	同 日本基督一致牛込教会 有志 女21名 男4名

	2.7	岩手県盛岡	基督信徒有志者			同	清水孝信
1889.4.10	15.86.5	櫻井女学校内	矢島樞 湯浅セイ 福 島ナカ 宇佐美ヨネ 橋本ハチ 野口ツネ 小林トシ 瓜生ジユウ 栗塚リヨウ 千村セイ 川村トヨ 田中ヨネ 三谷タミ 半田イネ 武笠アイ 秋庭アサ 才藤チカ 矢島タツ 奥キミ 杉崎マス 大 野コハル 平川シゲヨ 長谷川キタ 酒井ハル 高野アイ 岡見ミエ 山田ツ子 中島フク 瀧口ミカ 北瓜カツ 大石ムツヨ 関田フクジ 田村コマ 関田キミ 光本ノブ 中島タカ 富海ミヤ 内藤ミヨ 坪井スム 大関チカ 須藤カツ 長谷川ソノ 安藤カギ 清水テル 中村ヌヒ 上原エイ 嘉瀬テル 茂木テル 長田トミ 外山キン 安田イウ 増野ミチ 永峰ヨシ 加藤フジ 本橋ヨウ 落合トリ 宮崎カメ 菊池ラク			同	阿部平三郎
						同	井出吉定
						同	工藤愛之
						駿河台鈴木町 十六番地	高田耕安
						肥後人吉	豊永達人
						同	鹽見春亮
						同	吉富祇貞
						同	犬童未作
						同	養毛謙
						日本橋兜町	寺林商店
				0.5		岡山県下備中 國上房郡高梁 順生女学校	橋平米
				0.7		〔同〕	福西繁
				0.3		〔同〕	時任竹
				0.3		〔同〕	木村静
				0.2		〔同〕	尾藤錫
				0.2		〔同〕	高田元
				0.2		〔同〕	国分繁
				0.2		〔同〕	仲田サメ
				0.1		〔同〕	西小春
				0.1		〔同〕	仲山トク
				0.1		〔同〕	福森畑
				0.1		〔同〕	上原春茂
				0.1		〔同〕	谷本ミツ
				0.1		〔同〕	佐藤マサヨ
				0.1		〔同〕	小野トヨ
				0.1		〔同〕	小泉シヅ
				0.1		〔同〕	菅ハル
				0.1		〔同〕	行本キヨ
				0.1		〔同〕	片山タメ
				0.1		〔同〕	福本ケイ
				0.1		〔同〕	大西竹
				0.1		〔同〕	山本モ、ヨ
				0.1		〔同〕	後藤キス
				0.1		〔同〕	壺井トヨ
				0.1		〔同〕	松井トミヨ
				0.1		〔同〕	水野コト
				0.1		〔同〕	中村キン
				0.1		〔同〕	同トキ
				0.1		〔同〕	菊楽サキ
				0.1		〔同〕	増田勇
				0.1		〔同〕	荒木ケイ
				0.1		〔同〕	野島コマ
				0.1		〔同〕	庄シン
				0.1		〔同〕	瀬屋シン
				0.1		〔同〕	津崎ツヤ
				0.1		〔同〕	須山ミカ
				0.1		〔同〕	森脇タメ
				0.1		〔同〕	笹田コト
				0.1		〔同〕	谷淵テル
	2	埼玉県南埼玉 郡	和戸教会				
	3	東京	樋口クワ				
	8	横浜	住吉町教会有志者				
	0.5	播州多可郡	基督信徒				
	10	築地	明治学院神学部生徒有 志者				
1889.4.17	0.5	肥後人吉					
	0.5	同					
	0.5	同					
	0.5	同					
	0.1	同					
	0.2	上州福島町					
	1.2	札幌農学校農 芸伝習科生徒 舎内	聖書会				
	0.2	長野県南佐久 郡居倉村	田口岩太郎				
		牛込福音教会	清水政忠				
		同	平瀬榮策				
		同	同 千代				
		同	同 漸				
		同	西村良太郎				
		同	井上連平				
		同	市橋長道				
		同	山本増吉				
		同	無名氏				

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.1	〔同〕	剣持ムメ
	0.1	〔同〕	田仲千津代
	0.1	〔同〕	小泉コト
	0.1	〔同〕	小野タケ
	0.1	〔同〕	仲相マツノ
	0.1	〔同〕	大月マサノ
	0.1	〔同〕	大西ムメ
	0.1	〔同〕	島田マツノ
	0.1	〔同〕	梶田フサ
	0.1	〔同〕	阿部ツタノ
	0.1	〔同〕	西ミカ
	0.1	〔同〕	堀ヒサ
	0.1	〔同〕	門田エイ
	0.1	〔同〕	亀山ケイ
	0.1	〔同〕	山田ツル
	0.1	〔同〕	杉ミヨ
	0.1	〔同〕	柳井伊勢
	0.1	〔同〕	竹田ハルエ
	0.1	〔同〕	馬場キス
	0.1	〔同〕	赤木ケイ
	0.1	〔同〕	若林マツ
	0.1	〔同〕	金沢キヨ
	0.1	〔同〕	荒木ヨシ
	0.1	〔同〕	平松ムメ
	0.1	〔同〕	宮岡シケ
	0.1	〔同〕	織村トシ
	0.1	〔同〕	同スミ
	0.1	〔同〕	西川クマ
	0.1	〔同〕	前田カ子
	0.1	〔同〕	森ウノ
	0.1	〔同〕	平井トノ
	0.1	〔同〕	川合ケン
	0.5	岡山県備中国 上房郡高梁基 督教会	古木寅三郎
	0.1	〔同〕	同 廣吉
	0.1	〔同〕	同 ヒサ
	0.1	〔同〕	同 竹ノ
	0.1	〔同〕	ミツ
	5	〔同〕	石川豊治郎
	0.1	〔同〕	同 マサ
	0.1	〔同〕	同 キヌ
	0.1	〔同〕	同 才太郎
	0.1	〔同〕	同 カ子
	0.1	〔同〕	同 アイ
	0.1	〔同〕	松永禎太郎
	2	〔同〕	横田實五郎
	0.1	〔同〕	同 喜平治
	0.1	〔同〕	同 スカ
	1	〔同〕	小林尚一郎
	0.1	〔同〕	同与一右衛門
	0.1	〔同〕	同源右衛門

	0.1	〔同〕	小林シナ
	0.1	〔同〕	同 ツチ
	0.1	〔同〕	同 マツノ
	0.3	〔同〕	林 善助
	0.1	〔同〕	同 奎太郎
	0.1	〔同〕	同 英治郎
	0.1	〔同〕	同 松三郎
	0.1	〔同〕	同 弘二
	0.1	〔同〕	同 佳吉
	0.1	〔同〕	林 慰作
	0.1	〔同〕	同 カヨ
	0.1	〔同〕	同 サク
	0.1	〔同〕	同 ソノ
	2	〔同〕	須藤英治
	0.15	〔同〕	同 小マツ
	0.15	〔同〕	同 松枝
	0.1	〔同〕	同 潔
	0.1	〔同〕	同 テルヨ
	0.1	〔同〕	同 シツカ
	0.1	〔同〕	同 フミ
	0.1	〔同〕	同 スヘ
	0.1	〔同〕	同 道香
	1	〔同〕	家本芳蔵
	0.3	〔同〕	同 ナミ
	0.2	〔同〕	同平左衛門
	0.2	〔同〕	同 種
	0.2	〔同〕	同 キン
	0.1	〔同〕	同 龍五郎
	0.1	〔同〕	同 鹿蔵
	0.1	〔同〕	同 雪野
	0.1	〔同〕	同 満喜
	0.1	〔同〕	荒木ハナ
	1	〔同〕	赤木蘇平
	0.1	〔同〕	同 ムメ
	0.1	〔同〕	同 イシ
	0.1	〔同〕	同 賜
	0.1	〔同〕	同 一樹
	0.1	〔同〕	川合末
	0.5	〔同〕	小倉友
	0.5	〔同〕	森熊太郎
	0.1	〔同〕	同 元三郎
	0.1	〔同〕	同 キヌ
	0.1	〔同〕	同 ヒサ
	0.1	〔同〕	同 信治郎
	0.2	〔同〕	石川直助
	0.1	〔同〕	同 繁太郎
	0.1	〔同〕	同 政ヨ
	0.1	〔同〕	室谷三千代
	0.1	〔同〕	平松茂一郎
	0.3	〔同〕	横山伴吉
	0.2	〔同〕	同 清五郎
	1	〔同〕	藤澤隼吉
	0.1	〔同〕	中村國太郎

	0.1	〔同〕	牧野元平
	0.1	〔同〕	堀千代
	0.1	〔同〕	福西ヒデ
	0.1	〔同〕	永井マツ
	0.5	〔同〕	永井常太郎
	0.1	〔同〕	三笠碕蔵
	2	〔同〕	横屋幸喬
	0.1	〔同〕	小林ツマ
	0.2	〔同〕	齋藤傳太郎
	0.1	〔同〕	同 ツル
	0.1	〔同〕	同 セキ
	0.1	〔同〕	同 コト
	0.1	〔同〕	太田伴忠
	0.2	長崎港ステル 英学校生徒	佐藤喜太郎
	0.2	〔同〕	立澤富太郎
	0.2	〔同〕	岡田茂
	0.2	〔同〕	境 某
	0.2	〔同〕	上村清督
	0.1	〔同〕	宗方慶次郎
	0.1	〔同〕	下村伊吉
	0.1	〔同〕	飯田良二
	0.1	〔同〕	横田幸二郎
	0.1	〔同〕	黒田龍吉
	0.1	〔同〕	藤本金四郎
	0.1	〔同〕	吉岡市太郎
	0.1	〔同〕	下村庸九郎
	0.1	〔同〕	宮内喜之助
	0.1	〔同〕	山田治作
	0.1	〔同〕	執行経蔵
	0.1	〔同〕	佐村徳介
	0.1	〔同〕	今村秀夫
	0.1	〔同〕	廣津藤吉
	0.1	〔同〕	濱崎和門太
	0.1	〔同〕	阪本辰之助
	0.1	〔同〕	無名氏
	0.1	〔同〕	城貫一
	0.1	〔同〕	西源太郎
	0.1	〔同〕	片岡泉
	0.1	〔同〕	月川某
	0.1	〔同〕	田中楊太郎
	0.5	〔同〕	植松通太郎
	0.5	〔同〕	森山金蔵
	0.5	〔同〕	平山橋次
	0.15	〔同〕	右田舜智
	0.15	〔同〕	浦川幾二郎
	0.15	〔同〕	中川正元・上野鐵太郎
	0.3	〔同〕	古賀圓太
	0.5	第五高等学校 校医学部生徒	吉田成太郎
	1	〔同〕	鹿兒島 川上久良
	0.1	〔同〕	長崎 徳安彌平

	1	同	瀬川浅
	0.5	岡山県美作国 落合	長谷川春吉
	0.3	〔同〕	堀太郎
	0.3	〔同〕	福島信太郎
	0.2	〔同〕	津島種次郎
	0.2	〔同〕	岩井英太郎
	0.1	〔同〕	布席岩太郎
	0.2	〔同〕	堀友五郎
	0.1	〔同〕	金崎豊太郎
	0.1	〔同〕	小林マツ
	0.1	〔同〕	岩井サメ
	0.1	〔同〕	同ミ子
	0.1	〔同〕	長谷川タケ
	0.5	〔同〕	無名氏
	2.5	〔同〕	牛込聖公会
	1	〔同〕	平野織次郎
	0.2	〔同〕	木化六郎
	0.2	〔同〕	平野一磨
	0.1	〔同〕	大島常松
	1	〔同〕	網島行篤
	0.1	〔同〕	同 モン
	0.1	〔同〕	同 ツ子
	3	三河渥美郡	豊橋メソジスト教会 男四人女三人
	3	東京麹町区中 六番町	木全正修
	3	山口県豊浦郡 長府村	豊浦一致基督教会
	5	長野県	上田教会有志
	0.5	同小縣郡上田 町	大石良蔵
	0.2	同	稲垣虎太郎
	0.1	同鹽川村	横山山之助
	0.3	青森県中津軽 郡平崎氏大字 蔵王町	杉山三百造
	1.11	信州松代	美以美教会有志者
1889.5.8	0.5	東京英和学校	小林八三郎
	0.3	〔同〕	小林源吾
	0.25	〔同〕	飯田兼造
	0.2	〔同〕	川澄明敏
	0.2	〔同〕	平岡為之助
	0.15	〔同〕	田中慎太郎
	0.15	〔同〕	山内庫之助
	0.15	〔同〕	中山某
	0.1	〔同〕	松浦重吉
	0.1	〔同〕	中村徳太郎
	0.1	〔同〕	早乙女源左久
	0.1	〔同〕	飯沼正久
	0.1	〔同〕	伊藤實之助
	0.1	〔同〕	杉原登人
	0.1	〔同〕	石川和助
	0.1	〔同〕	鶴崎甲午郎

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.1	〔同〕	岡田豊治
	0.1	〔同〕	高見常蔵
	0.1	〔同〕	平岡駒次郎
	0.5	〔同〕	岡田哲蔵
	0.2	〔同〕	松田平四郎
	0.2	〔同〕	郡時
	0.2	〔同〕	木田八十吉
	0.2	〔同〕	各務多作
	0.2	〔同〕	平田孝二郎
	0.2	〔同〕	小畑久五郎
	0.1	〔同〕	浅井豊久
	0.2	〔同〕	吉澤誠造
	0.2	〔同〕	清水元太郎
	0.15	〔同〕	生江孝之
	0.15	〔同〕	卜部準平
	0.1	〔同〕	望月久茂
	0.1	〔同〕	毛利可久
	0.1	〔同〕	遠藤直吉
	0.5	〔同〕	船橋雄 福原璋吉 秦俊 幸 若林石二郎 高木順 三郎
	0.3	〔同〕	濱田覚太郎
	0.3	〔同〕	澁村苞男
	0.15	〔同〕	渡邊亨吉
	0.1	〔同〕	阿部春吉
	0.1	〔同〕	古川逸作
	0.1	〔同〕	濱田三郎
	0.1	〔同〕	橋本嶽三郎
	0.1	〔同〕	飯島鹿十郎
	0.1	〔同〕	飯野哲之助
	0.1	〔同〕	勝島太吉
	0.1	〔同〕	川崎次郎
	0.1	〔同〕	北爪牧
	0.1	〔同〕	小島駿四郎
	0.1	〔同〕	三宅貞次
	0.1	〔同〕	森洋治
	0.1	〔同〕	村松右三郎
	0.1	〔同〕	中西誠一
	0.1	〔同〕	中田重治
	0.1	〔同〕	中島鐘五郎
	0.1	〔同〕	二階堂安十郎
	0.1	〔同〕	二宮福太郎
	0.1	〔同〕	白須宗吉
	0.1	〔同〕	高橋鋤郎
	0.1	〔同〕	吉住愛之助
	0.1	〔同〕	結城昇
	0.05	〔同〕	関根要八
	1.9	〔同〕	川田國太郎 関口長 瀬川武輔 林成一 米 良悌二 平野久雄 松 本直一 村山崎太郎 長澤芳三郎 芳賀亀太 郎 北條鈔次郎 北川 鱗太郎 森田福太郎 西村六二 桑原 森安 延衛 鹽谷廉 今村

	0.4	〔同〕	河村正彦
	0.2	〔同〕	木村正介
	0.2	〔同〕	岩田鉉司
	0.2	〔同〕	大木金兵衛
	0.1	〔同〕	新延正臣
	0.1	〔同〕	鈴木兼吉
	0.1	〔同〕	関正路
	0.1	〔同〕	小久保菊平
	0.1	〔同〕	伊藤常三郎
	0.1	〔同〕	毛塚重太郎
	0.1	〔同〕	北沢鐵治
	0.1	〔同〕	篠塚勝平
	0.1	〔同〕	内藤乾治
	0.1	〔同〕	柏金三
	0.1	〔同〕	松本縁
	0.1	〔同〕	若林功
	0.1	〔同〕	肥塚様五郎
	0.1	〔同〕	加藤亀之介
	0.1	〔同〕	松平三郎
	0.1	〔同〕	矢吹雄二
	0.1	〔同〕	吉田清吉
	0.1	〔同〕	土屋修三
	0.1	〔同〕	田原篤高
	1	〔同〕	松岡寿恵
	0.3	〔同〕	渡瀬隆
	0.2	〔同〕	松崎令
	0.2	〔同〕	大竹孝造
	0.2	〔同〕	前田他吉郎
	0.1	〔同〕	濱野萬助
	0.1	〔同〕	玉置政一郎
	0.1	〔同〕	石橋庸治
	0.1	〔同〕	石橋政三
	0.1	〔同〕	今井宣二
	0.1	〔同〕	栗屋末熊
	0.1	〔同〕	小橋橙造
	0.1	〔同〕	梶井薫松
	0.1	〔同〕	菊池節也
	0.1	〔同〕	清水鐵彦
	0.1	〔同〕	田中太一
	0.1	〔同〕	沼田雅司
	0.05	〔同〕	吉田學造
	0.1	〔同〕	塚田忠
	5	〔同〕	元良勇次郎
	1	〔同〕	松島剛
	1	〔同〕	駒井覺
	1	〔同〕	石坂正信
	0.5	〔同〕	齋藤良一
	0.2	〔同〕	設楽英辰
	0.2	〔同〕	仙台一致教会 員
	0.2	〔同〕	原野又五郎
	0.2	〔同〕	遠藤滋
	0.5	〔同〕	石川亀三郎

	0.1	〔同〕	松本亀三
	0.2	〔同〕	石黒忠一郎
	0.2	〔同〕	菱沼直光
	0.3	〔同〕	熊谷抱五郎
	0.3	〔同〕	伊藤善三郎
	0.2	〔同〕	齋藤永頼
	0.2	〔同〕	金成兵助
	0.2	〔同〕	藤澤定治
	0.3	〔同〕	鈴木秀一
	0.1	〔同〕	島貫兵太夫
	0.1	〔同〕	伊藤豊之助
	0.1	〔同〕	佐藤徳三郎
	0.1	〔同〕	小関太平治
	0.1	〔同〕	伊藤三七
	0.1	〔同〕	石井熊次郎
	0.1	〔同〕	内田卓爾
	0.2	〔同〕	上村浅次郎
	0.3	〔同〕	小島勇記
	0.2	〔同〕	三瓶四平
	0.2	〔同〕	須田速水
	0.5	〔同〕	大内東
	1	〔同〕	宮本六兵衛
	1	〔同〕	菅田勇太郎
	0.5	〔同〕	芽根清吉
	0.5	〔同〕	橋本亮
	0.5	〔同〕	橋本経光
	0.2	〔同〕	関屋愛蔵
	0.2	〔同〕	宮部フク
	0.1	〔同〕	田村ミキ
	0.1	〔同〕	佐藤カ子
	0.15	〔同〕	星七郎治
	0.15	〔同〕	星民
	0.1	〔同〕	中島リヨ
	0.2	〔同〕	赤星タカ
	0.2	〔同〕	田邊エツ
	0.1	〔同〕	小原タカ
	0.2	〔同〕	河西ツ子
	0.15	〔同〕	山本ヨシ
	0.2	〔同〕	竹内チヨ
	0.5	〔同〕	芽根マサ
	0.3	〔同〕	水谷テツ
	0.2	〔同〕	首藤イネ
	2.05	〔同〕	仙台神学校中
	0.1	〔同〕	小原イヨノ
	0.1	〔同〕	宮本ムラ
	0.1	〔同〕	首藤フデ
	0.1	〔同〕	岩井キチ
	0.1	〔同〕	竹田カ子
	0.1	〔同〕	石川梅代
	0.1	〔同〕	戸塚リカ
	0.1	〔同〕	横尾ハツ
	0.1	〔同〕	尾花梅代
	0.1	〔同〕	日野ダイ

	0.1	〔同〕	三浦ハマ
	0.1	〔同〕	齊藤フユ
	1	〔同〕	稲垣秋香
	1	〔同〕	稲垣トヨ子
	1	〔同〕	米人某
	1	〔同〕	関屋長枝
	2.2	宮城県本吉郡	志津川基督教教会
	0.2	〔同〕	菊田友治郎
	0.15	〔同〕	阿部平之助
	0.3	〔同〕	千葉清作
	0.2	〔同〕	佐伯近蔵
	0.2	〔同〕	和泉良治
	0.1	〔同〕	工藤彌惣松
	0.1	〔同〕	神城八百治
	20	函館美以美教会	某数名
	1.1	〔同〕	無名某等
	1	〔同〕	雑賀アサ
	1	〔同〕	藤本初吉
	1	〔同〕	青木喜三郎
	0.2	〔同〕	夏堀石太郎
	0.2	〔同〕	珍田ミワ
	0.1	〔同〕	豊嶋タケ
	0.1	〔同〕	山田トク
	0.1	〔同〕	中野ムソ
	0.1	〔同〕	木本トキハ
	0.1	〔同〕	新井田サダ
	0.5	富山平吹町	風間満江
	0.1	〔同〕	井上豊次郎
	0.2	〔同〕	居宿アイ
	0.5	〔同〕	石川熊太郎
	0.1	信州佐久郡岩村田町	石倉民三
	0.1	〔同〕	中澤万助
	0.1	〔同〕	木村半之助
	0.1	〔同〕	依田由之助
	0.1	〔同〕	宮入鍵太郎
	0.1	〔同〕	笠原市三郎
	1.3.8	聖保羅教会	安息日学校生徒
	0.2	同教会	小林貞三
	0.2	同	田中利重
	1.5	日向延岡	基督信徒中
	3.7	東京	本所教会有志者
	1	同	羽田益吉
	4	新潟教会	男15名、女4名 合19名
	2.5	東京々橋区	中橋一致教会
	1		清水芳吉
	0.3		矢ノ倉教会
	5	上州伊勢崎	基督教々会
	5	仙台東華学校	市原盛宏
	2	同	片桐清治

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	2	同	田中兎毛
	1.5	宮城基督教会	三宅荒穀
	1	仙台東華学校	和田正幾
	1	宮城基督教会	一力健次郎
	1	同	鈴木武郎
	0.6	同	小林松之進
	0.3	同	鹿又幸助
	0.3	東華学校	今野信時
	0.2	宮城基督教会	油井信九郎
	0.1	東華学校生徒	阿部松二郎
1889.5.15	4.75	和歌山県那賀郡	那賀教会
	2	青森県	青森美以美教会
	0.5	長崎	齋藤實徳
	0.1	同ステール英学校	辰巳豊吉
	0.1	同スタルジス女学校	辰巳トモ
		同	平田サダ
		同	武藤チヨ
	1	同	勝野タマ
		同	浅田イハホ
		同	永野クスコ
		同	井出タツ
	4.1	東京日本橋区	両国教会
	5		丹羽氏
	3.8	神田福音教会	有志者
	5	芝区白金鎖町	岡見俊致
	0.5	同	仙波なを
	0.3	久栗郵便電信局	土田直鋤
	0.5	勢州津中茶屋町	川村直一
	0.5	同榮町	本間左仲
	0.5	同下部田	辻本熊吉
	0.5	同西檢校町	飯田つる
	0.4	同久居鷹跡町	某々
	0.3	同津下部田	某
	0.1	同一志郡野村	某
	0.1	同同長常村	某
	0.1	同度会郡高見浦	某
	0.4	下谷御徒町四、廿四	新井為吉
	2	京橋区	美以美築地教会
	1	上州高崎新紺屋町	徳井米吉
	0.3	三州豊橋	メソヂスト教会〔誤報追加分〕
	2	山口県徳山	佐田市之進
	20	京橋区築地	新築教会
	20	上州碓氷郡藤塚村	沼賀誠三郎
	5	同西群馬中泉村	横山佐平太

	2	同碓氷郡藤塚村	沼賀龍太郎
	5	同	沼賀保造
	2	同高崎歌川町	清水カ子
	3	同藤塚村	熊井房次郎
	0.5	同西群馬郡下高田	清水龍助
	0.5	同藤塚村	熊井喜三郎
	1	同	志村芳太郎
	0.5	同高崎升大字嘉多町	樋口元吉
	0.1	紀伊東牟婁郡新宮町	石垣久兵衛
	3	教会員	西村伊作
	3	同	小倉米彦
	3	同	玉置西久
	0.1	同	高橋盛次郎
	0.5	同	成江寧
	0.2	同	永田小三郎
	0.1	同	植野初太郎
	0.1	同	松本昌平
	0.5	同	深田剛次郎
	0.2	同	水野八十郎
	0.2	同	南徹一郎
	0.22	同	清水徹
	0.2	同	鹽崎芳之助
	0.3	同	榎本敬次郎
	0.1	同	鈴木真澄
	0.13	同	無名
	0.1	熊本郡詫摩郡本庄村	松田才治
	0.1	熊本聖公会々員	佐藤憲太郎
	0.1	同	中村正路
	0.1	同	久保田ヒヲ
	1	同	岡田正偉
	2	同	主ノ一小僕
	0.2	佐賀聖公会々員	本吉フミ
	0.5	北蒲原郡中條町	吉村萬蔵
	0.5	同	高橋寅松
	0.5	同	須貝又一郎
	0.2	同	山田權七
	0.2	同	山田忠平
	0.2	同	窪田末廣
	0.3	同	岡彦金治
	0.2	同	奥村和三郎
	0.2	同	川崎リク
	0.1	同	奥村清吉
	0.1	同	山本定吉
	0.1	同	有志者
	0.2	同	大久保周太郎
	0.2	同	小菅喜蔵

	0.1	同	須貝新平
	0.1	西條村	丹後末蔵
	0.2	乙村	時田健順
	0.1	同	同カク
	0.1	同貝屋村	相馬直五郎
	0.1	同小学校教員	山本鉄治郎
	0.2	同中條町	高橋鹿蔵
⑦女学雑誌			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1889.2.16	0.5	元園町	宮島まさ
	0.1	同	同 可次郎
	0.1	同	同 祝三
	0.1	同	同 ひで
	5	日吉町女学雑誌社	巖本善治
	1	明治女学院	木村祐吉
	0.5	同	八木兼辰
	0.5	同	松田龍方
1889.2.23	2	東京帝国大学院	木村駿吉
	0.6	同	齋藤十一郎
	0.6	麹町区飯田町明治女学院	有志者八名
	1	但馬国七味郡村岡町	小谷品子
	0.5	同	社員某
	0.1	但馬国養父郡小城村	長島熊太郎
	0.5	信濃国北佐久郡小諸町	西島利津子
1889.3.2	1	明治女学院内	呉くみ
	0.4	同	一号室
	0.4	同	四号室
	0.1	同	宮高なつ
	0.1	同	久保とみ
	0.1	同	渡辺やの
	0.1	同	石川たか
	0.05	同	大橋つぎ
	0.05	同	前田とよ
	0.15	同	有志者一人
1889.3.16	1	牛込弘方町	金谷でう子
	1	麹町区永田町	龍居頼三妻
	1	天腕子内	鈴木貞子
	0.5	林絹介	林絹介
	1.45	明治女学校	有志者五名
	1.1	同	マリヤの友9名
	0.3	同	八号室
	0.3	同	七号室
	0.3	同	三輪貞子
	0.1	同	松井光子
	0.1	同	宮島なつ子
	0.1	同	久保とみ子

	0.2	小石川区竹島町	竹内ゆき子
1889.4.6	0.1	但馬国七美郡村岡町	小谷善子
	0.5	但馬国生野鉾山	栗本豊子
1889.4.27	20	越後国南蒲原郡傍所村	高橋善作
	3	東京小石川区小日向台町	浅井柞子
	0.3	駿河国静岡市	芙蓉峰仙史・芙蓉峰女史
	0.1	肥前国養父郡中原駅	藤井初
1889.5.4	1	本郷区森川町一番地	小林榮子
	1	伊予国桑村郡高知村	大澤竹子
	0.1	同	山下房二郎
⑧大阪毎日新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1889.2.13	2	播磨国明石郡戎町	福安鹿之助
1889.3.5	5	大阪商船会社社員	原田虎三
	1.2	同	西條欣吾
	1	同	永松重遠
	1	同	愛宕直三郎
	1	同	奥山一郎
	1	同	小西慎三郎
	1	同	藤田辰之助
	1	同	物集伴次郎
	0.5	同	浪上幸三郎
	0.5	同	丹澤晋蔵
	0.5	同	藤野玖三
	0.5	同	谷川濟
	0.5	同	宇津木芳次郎
	0.5	同	森謙吉
	0.3	同	榊原保太郎
	0.3	同	長谷川定政
	0.3	同	和田長平
	0.3	同	小林好榮
	0.3	同	檜垣鉄次郎
	0.2	同	白庄司芳之助
	0.2	同	山本治郎吉
	0.2	同	会田藤兵衛
	0.2	同	長谷川保兵衛
	0.2	同	濱谷清音
	0.2	同	井上義雄
	0.2	同	岡本鐵太郎
	0.2	同	野島重
	0.2	同	安原金八
	0.2	同	阿部克太郎

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.2	同	日阪嘉十郎
	0.2	同	山田常七
	0.2	同	林俊次郎
	0.1	同	澤田利行
	0.1	同	中村弘蔵
	0.1	同	弘中篤三
	0.1	同	伊藤左吉
	0.1	同	難波復二
	0.1	同	重松寛治
	0.1	同	石橋九郎
	0.5	滋賀県神埼郡相谷村端	端吉三郎
⑨大阪朝日新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.11.17	1	播磨国印南郡加古川町	粕谷主一郎
	1	同国同郡同町	野間宗七
	0.2	大阪東区瓦町1丁目	武川定太郎
	0.1	大和国郡山本町	伏見常造
1888.11.29	0.5	西区裏新町	松山みさを
	0.5	西区新町南通1丁目	西順一内ふさ
1888.12.15	1	南区心齋橋筋1丁目松村方	福井孝太郎
	1	加賀国江沼郡橋立	河村丈吉
	1		紅芳館
	0.5	南区御津学校教員	浅井重一
	0.5	同上	黒田忠雄
1888.12.19	1	摂津国川邊郡尼ヶ崎町	岡澤傳三郎
	1	東区大川町	清風楼小六
1888.12.26	0.5	紀伊国北牟婁郡尾鷲南浦	土井市松
	0.5	同国同郡船津村	楠三郎兵衛
	0.5	伊予国西宇和郡八幡	濱谷泰吉
	0.5	大阪一致女学校	谷文子
1888.12.30	1	和泉国南郡岸和田村	舟木誠一
1889.1.19	1	紀伊国田辺	T. S.
	1	和泉国日根郡岡田村	菁莪夜学会男女生徒中
	0.2	京都上京区東三本木	藤井捨吉
	0.2	同所	古賀政二
	0.2	同所	同人母
1889.1.27	20	播磨国明石郡東本町	石田庄三郎

	5	同郡大蔵谷村	三國茂三郎
	5	同村	平井英三郎
	5	同郡細工町	湊謙一
	3	同郡大蔵谷村	荒尾平助
	2	同郡西元町	藤田しゆん
	1	同郡當津村	濱名仙五郎
	1	同郡當津村	吉野治兵衛
	1	同郡大蔵谷村	中西岩蔵
	1	同村	三國かう
	1	同郡東本町	柏木芳太郎
	1	同町	鷲尾長三
	1	同町	森いし
	1	同町	石田ふさ
	1	同郡東本町	田中宗次郎
	1	同町	藤井昌貞
	1	同郡桐生町	山岡光太郎
	0.5	同郡西本町	石田吉松
	0.5	同郡細工町	湊まき
	0.5	同町	大村吉蔵
	0.5	同郡東本町	田中宗三郎
	0.3	同郡大蔵谷村	岡崎福松
	0.3	同郡細工町	湊豊吉
	0.2	同郡明石村	木村成喜
	0.2	同郡東本町	降屋その
	0.2	同町	田中いつ
	0.2	同郡細工町	河合藤吉
1889.2.15	2	北区常安町	福井武
	1	大阪医学校生徒	富永悦三
	0.2	北区常安町38番地	鈴木鍋太郎
1889.2.27	3	播磨国加古郡別府港97番地	多木宗十郎
	1	讃岐国賀川郡高松在留	しげ
1889.3.23	3	備中国小田郡笠岡村	森田佐平
	1	同国窪屋郡羽島村	岸鼎
	1	備後国沼隈郡松永村	小川喜三次
	0.5	同郡同村	高橋圭介
	0.5	備中国窪屋郡羽島村	西山澄
	0.5	同郡同村	西山欽治
1889.4.3	4	伊予国温泉郡松山柳井町	三好祐直
	1	備後国三谿郡大田幸村	林豪一
	1	同国沼田郡毛木村	前田篤之介
	1	同国恵蘇郡本郷村	山内吉郎兵衛

	1	同国佐伯郡海走濱	柴野義夫
	1	安芸国賀茂郡竹原	竹鶴知次郎
	1	同町	亀田元三郎
	1	同郡下市村	永井敬助
	1	児島郡天城村	中島雄三
	0.8	安芸国賀茂郡下市村	堂面松吉
	0.8	同村	三村量三
	0.8	同村	村上惣右衛門
	0.8	同村	松阪芳太郎
	0.5	同村	竹鶴敬次郎
	0.5	同村	日高中一
	0.5	同国広島区平塚町	粟谷元吉
	0.5	備後国芦田郡福田村	麦田宰三郎
	0.3	安芸国賀茂郡下市村	神村省吾
	0.2	同村	石井亮造
1889.4.6	5	備前国和気郡香登本駅	武内五郎
	2	同駅	増田光男
	2	同駅	児島純雄
	1	同駅	野崎益三
	1	同駅	楠原熊男
	1	同駅	馬場久次郎
	0.7	同郡大内村	一井盛太郎
	0.5	同郡香登本駅	津田謹吾
	0.5	同駅	加門隆卿
	0.5	同駅	香西清次郎
	0.5	同駅	香西卯平
	0.5	同駅	児島俊一郎
	0.4	同国邑久郡佐山村	横山吉平
	0.4	同郡牛文村	浮田利九次
	0.3	同国和気郡片上駅	伊木亀
	0.2	同郡新庄村	石原吉三郎
	0.2	同郡福田村	守時早吉
	0.1	同郡香登本駅	山口金作
	0.1	同駅	馬場肇吉
	0.1	同駅	増田操
	0.1	同駅	児島梅
	0.1	同駅	児島愛
	0.1	同駅	児島道
	0.1	同駅	武内君太
	0.1	同駅	武内花
1889.4.10	10	播磨国美囊郡三木町	黒田政六郎
	5	同町	黒田之
	1.5	同町	北井貞之助

	1.5	同町	黒田清右衛門
	1.5	同町	石田榮三郎
	1	同町	小河秀太郎
	0.5	同町	宮崎新蔵
	0.5	同町	富岡寅之助
	0.5	同町	戸川作兵衛
	0.5	備後国芦田郡高木村	豊田きす
	0.5	同村	豊田みや
	0.5	同村	豊田達世
	0.3	播磨国美囊郡三木町	山田理之助
	0.3	同町	渡邊惣次郎
	0.3	同町	小林蜜蔵
	0.2	同町	平井藤太郎
	0.2	同町	山田文治
	0.2	同町	岩佐六助
	0.2	同町	中井忠兵衛
	0.2	同町	藤田善兵衛
	0.2	同町	黒田元治郎
	0.2	同町	稲見宇七
	0.15	同町	小原直三郎
	0.15	同町	石田喜兵衛
	0.1	同町	藤原善之助
	0.1	同町	山本いち
	0.1	同町	石田榮助
	0.1	同町	武川常之助
	0.1	同町	井上豊之助
	0.1	同町	渋谷作平
1889.4.12	1	備後国甲奴郡上下村	岡田胖十郎
	0.3	同村	隅井米三郎
	0.2	同村	重森協二郎
	0.2	同村	高木音吉
	0.2	同村	長簡一郎
	0.2	同村	角倉彦五郎
	0.2	同村	三玉精之助
	0.2	同村	柳父儀平
	0.2	同村	安友高一郎
1889.4.19	1.5	和泉国南郡岸和田北町	本田勝治郎
	1	大和国吉野郡下北山村	倉谷新重郎
	0.3	和泉国南郡岸和田北町	本田とみ
	0.1	同町	本田庄太郎
	0.1	同町	本田うた
1889.4.24	5	備中国小田郡笠岡村基督教会員	浅野富平
	5	同会員	江波喜平
	5	同村有志者	廣井卯平
	1	同会員	浅野富治

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	1	同	浅野理三郎
	1	同	浅野せん
	1	同	浅野龟
	1	同	西岡直吉
	1	同	谷本半十郎
	1	同	有志者某
	1	同	廣井作五郎
	0.5	同会員	浅野正七
	0.5	同	浅野富太郎
	0.5	同	江波定平
	0.5	同	三村仙彌
	0.5	同	藤井孫三郎
	0.5	同	江波いつ
	0.3	同会員	大島徳太
	0.2	同会員	小川奎太郎
	0.2	同	黒田つね
	0.1	同会員	藤井こまつ
	0.1	同	藤井あさ
	0.1	同	秋本亀太郎
	0.1	同	辻たき
	0.1	同	萩原種松
	0.1	同村有志者	妻木二郎
	0.1	同	藤井虎太郎
	0.1	同	藤井きく
	0.1	同	藤井誠二
1889.4.26	1	美作国英田郡倉敷本町	多賀有方
	1	河内国茨田郡枚方町	ま、ま
	1	大和国武上郡美和村	喜多九郎右衛門
	0.3	同村	宮生主若
	0.2	同国高市郡今井町	城行安
	0.2	河内国茨田郡枚方町	山中勝吉
	0.15	同郡同町	多田きせ
	0.15	同町	多田すみ
	0.1	同町	松下勝太郎
	0.1	同町	松下佐治郎
	0.1	同町	小野熊太郎
	0.1	大和国十市郡櫻井村	堀川係太郎
	0.1	同村	船谷半四郎
	0.1	同村	小川徳三
⑩神戸又新日報			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1888.12.4	5	日本熟皮会社	西村■三
	2	同	千谷桑吉
1889.1.22	3	兵庫	池長通
	0.1	播磨国揖西郡龍野町	奥山光輝
1889.1.26	10	神戸居留地百一番館	小松源七

1889.2.7	20	神戸栄町五丁目	今井太左衛門
	2	同今井製靴所	鶴野保蔵
	0.5	同同	間人市三郎
	5	神戸元町五丁目	今井善兵衛
	0.5	神戸石油商社	岡村昇太郎
1889.2.16	1	兵庫県尋常小学校長	佐藤彌太郎
	0.5	同訓導	井上梵吉
	0.25	同同	津谷米太郎
	0.25	同同	高橋亀之助
	0.5	但馬国養父郡宿南村	西村朋之弼
1889.2.20	3	兵庫県有馬郡三田町	前田兵蔵
1889.3.3	1	但馬国七美郡味取村	徳田亨
	1	同郡高津村	向谷求馬
	0.2	同人母	向谷さん
1889.3.9	1	横尾村	富井恒三郎
	0.2	播州加西郡北條町	福永直右衛門
	0.2	同町	福永彌三郎
	0.5	同町	森亀次郎
	0.3	同町	小林達二郎
	0.3	同町	村田久治
	0.3	同町	山下茂七
	0.3	同町	内藤猪之吉
	0.3	同町	玉田三右衛門
	0.3	野上村	内藤円次郎
	0.1	北條町	近藤繁治
	0.15	窪田村	山下儀太郎
	0.1	西劔坂村	安積重次郎
	0.1	北條町寄留	松田源十郎
	0.1	西横田村	横田喜一郎
	0.1	中富村	辻橋次郎
	0.1	北條町	十河利吉郎
	0.2	同町	小西文兵衛
	0.3	同町	尾芝四郎兵衛
	0.2	同町	高瀬勝次郎
	1	北條町寄留協立英語学会員	関厳次
	0.2	同町同上	那波徳治
	0.2	同町寄留同上	白井正修
	0.1	同町同上	山下龍太郎
	0.1	同町同上	外山種次郎
	0.1	同町同上	三枝朝太郎
	0.2	同町寄留同上	荒川清吉
	0.1	同町同上	三枝健次郎
	0.2	同町	後藤一真
	0.1	同町	藤本種三郎
	0.3	同町	三枝仙太郎

	0.1	同町	児島陽彦
	0.3	同町	時里市次郎
	0.2	同町	佐治源兵衛
	0.1	同町	内藤源太郎
	0.2	同町	徳岡啓哉
	0.3	兵庫校訓導	藤原多民治
	0.3	同	天羽五百枝
	0.2	同	筏安太郎
1889.3.10	2.5	西京都修学院 住在神戸	三宅敬直
1889.3.22	0.3	播磨国加西郡 北條町	池田駒太郎
	0.2	同所	古川橋之助
	0.1	同所	十河平重郎
1889.3.27	2.5	神戸区下山手 通六丁目五九 一番地 小松 崎方	岡本良知
1889.3.28	10	神戸区浜宇治 野町	小林茂兵衛
	5	同阪本村	一婦人
	1	同仲町三丁目	中村周治
	0.1	同元町四丁目	今井モト
	[0.2]	同仲町	沖市助
	1	同阪本村	牧龍太
	1	同浜宇治野町	小林如雲
	0.3	同同	橋本峰吉
	0.5	同同	金子助七
	0.2	同同	石井ケイ
	0.5	同阪本村	武藤クマ
	0.15	同同	西松廉造
	0.15	同同	辻井ヤス
	0.15	同橋通	井脇トヨ
	0.1	同同	上田ツル
	0.1	同同	渡部クワ
	0.2	同阪本村	九鬼キク
	0.3	同同	松本造酒造
	2	同浜宇治野町	山本五郎
	0.5	同元町四丁目	嘉納熊次郎
	0.1	同元町五丁目	大野千鶴
	0.5	同北長狭通七 丁目	八木トヲ
	2	同下山手通七 丁目	松田次郎吉
	1	同同	吉井婦一
	1	同同	大塚チェ
	1	同同	長田シン
	1	同同	前田英哲
	0.5	同浜宇治野町	松田治郎衛門
	0.2	同下山手通六 丁目	渡邊金吾
	0.2	同同七丁目	吉川マス
	0.5	同同	藤田覚太郎
	0.5	同同六丁目	橋本ウノ

	0.5	同元町五丁目	大野輝吉
	0.3	同中山手通	浦口侶吉
	0.1	同同	同ハナ
	0.3	兵庫小学校訓 導	柴田伊太郎
1889.4.6	10	神戸東川崎町	播磨幸七
	5	同同	小林富次郎
	2	同同	無名氏
	2	同同	川道雅彦
	0.5	同同	小林丈之助
	0.1	同同	同ツル
	0.5	同同	今井樟太郎
	0.3	同同	岡本卯三郎
	0.5	兵庫藤本本店	柳川芳蔵
	0.5	丹波篠山二階 町	岡村チカ
	0.1	神戸栄町六丁 目	鈴木達次郎
1889.4.7	3	明石郡大明石 村	河合ウノ
	2	同東本町	藤田又三郎
	1	同中町	大前平兵衛
	0.5	同相生町	安藤榮次郎
	0.5	同當津村	武藤義一
	0.5	同相生町	赤松俱次郎
	0.5	同同	小野田仙四郎
	0.3	同大明石村	藤田伊三蔵
	0.5	同堅田村	井藤貞三
	0.5	同西戸田村	川崎徳三郎
	0.3	同養田村	瓜生常次郎
	0.2	同同	瓜生善次郎
	0.3	同高和村	川本政太郎
	0.3	同同	藤本仙太郎
	0.3	同同	川本要吉
	0.4	同同	川本寅太郎
	0.2	同同	池田萬作
	0.2	同同	森岡甚吉
	0.5	同大蔵谷村	富永久次郎
	0.3	同相生町	前田孝典
1889.4.10	10	神戸北長狭通 四丁目	永見某
1889.4.11	25	神戸北長狭通 五丁目	佐畑信之
1889.4.13	0.5	神戸相生町	太田某
	1	兵庫永澤町	村上新
	3	同北仲町	山田良齊
	0.5	同湊町	川崎左平
	1	同北仲町	梅本久左衛門
	1	同出在家町	神田某
	5	兵庫湊町	横河エイ
	0.3	同北逆瀬川町	大村吉次郎
	0.15	同富屋町	松本由松

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.1	同永澤町	野口道悠
1889.4.17	50	神戸基督教教会員	川本泰年
	0.5	同	桑原作吉
	0.2	同	小林袖
	0.1	同	原田ハツ
1889.4.19	0.5	同	澤才二郎
	0.1	同	加藤ミ子
	0.2	同	山口安造
	0.3	同	水谷ミツ
	2	同	土井久七
	2	同	小磯ミト
	3	大坂北浜貳丁目	芦田慶治
	1	神戸	池田テル
	0.5	同	林千代
	1	同 三井銀行	木村
	0.1	同 伝道学校	八牧千代
	0.3	同 師範学校	柳原又次郎
	0.1	同 下山手通六丁目	桃井
	0.1	同 木村強内	藤田欽之助
	0.2	同 下山手通六丁目	太田正
	0.2		奥山和吉郎
	1		尾崎芳郎
	15		畠山伊兵衛
	15		畠中良助
	5		藤岡スエ
	2.4		成田清之助
	2.4		杉原景雄
	6		平野永太郎
	3.6		矢野熊次郎
	3.6		大島元三郎
	18		花田元直
	2.4		浅見金吾
	0.4		岩崎長
	0.5		岡村モヨ
	0.9		松本造酒蔵
	0.3		井上新次郎
	1		佐野喜代吉
	1		池田新四郎
	0.2		田代敏樹
	0.1		百々リウ
	0.1		古沢源兵衛
1889.4.23	0.3	兵庫県八部郡山田村	高木正平
	0.1	同	同さい
	0.1	同	藤田友太郎
	0.1	同	中島小ツル
	0.2	同	渋谷早子
	0.2	同	中島豊松

	0.2	同	同榮太郎
	0.1	同	同いね
	0.1	同	福井彌吉
	0.5	同	福井榮次郎
	1	神戸北長狭通四丁目	下見敏雄
	100	神戸下山手通六丁目	鈴木清
	0.3	兵庫江川町	丸井清七
	0.3	神戸	黒川備正
	35.98		神戸英和女学校生徒86名
	5	神戸基督教教会員	瀬戸安兵衛
	3	同	木村濱次郎
	0.5	同	岸上リキ
1889.4.25	2	摂津国有馬郡三田基督教教会	若林元昌
	0.5	同	橋村紹悦
	0.5	同	高松文蔵
	0.5	同	石田ヒデヲ
	0.1	同	九鬼イソ
	0.5	同	井坂喜興
	0.5	同	村山ミチ
	0.75	同	藤田久次郎
	0.5	同	和田彌兵衛
	0.1	同	金子辨蔵
	0.3	同	前中泰雲
1889.4.28	50	姫路基督教教会員	桑野弦蔵
	10	同	田中三郎
	5	同	野村篤登
	3	同	永井尚吉
	2	同	丹波清次郎
	1	同	都筑宗正
	1	同	川西鎌二
	1	同	川崎友次郎
	0.5	同	木村厚
	0.45	同	大山鑑蔵
	0.1	同	川西篤治
	0.1	同	下田申次
	0.1	同	永井尚賢
	0.1	同	井上恒次
	1	同	桑野トモ
	1	同	都筑ジュン
	1	同	長川シモ
	0.5	同	山口サク
	0.3	同	上月シヅノ
	0.2	同	井上テツ
	0.2	同	井上ハナ
	0.1	同	川西テル
	0.1	同	永井小巻
	1	摂津有馬郡三田	田村某

1888.5.1	5	神戸内海岸	池田吉三郎		3.5	寺町二条下る	小川辰造
	2	同 下山手通	津田練四郎		3.5	寺町通今出川上る	荒木与兵衛
	0.1	兵庫基督教会員	長野政信		3	同	小田儀兵衛
	5	神戸基督教会員	飯田勇記		3	河原町三条上る	白井製造場
	0.1	同	松田猛猪		2	今出川通寺町西入	北村正助
	1	同	木村恒松		1	寺町通丸太町下る	櫻井定
	0.15	同	坂上光造		1	西堀川上長者町	外山秀二郎
	3	同	大林久藏		2	今出川通寺町東入	野村徳三郎
	0.5	同	山内松鶴		1	寺町通今出川上る	清水徳二郎
	0.5	同	津島顕		0.5	丸太町堺町	佐竹伊兵衛
	0.5	同	吉浦久次郎		0.5	今出川通河原町	中井喜兵衛
	1	同	関忠利		0.5	御幸町夷川上る	関東屋〔くわんとや〕
	1	同	河村正雄		0.2	今出川寺町西入	佐々木寅二郎
	2	神戸英和女学校	有馬某女		0.2	同	神川仙二郎
	3	明石郡垂水村	有本重五郎		0.2	今出川寺町東へ入	成川榮太郎
	3	同 大蔵谷村	高島正領	1888.11.23	0.3	寺町通今出川東入	廣瀬卯三郎
	1	同 大明石村	鈴木武		1	烏丸通姉小路上る	片桐正雄
	1	同	黒田耕三		1	両替町二条下る	吉野久和
	1	同 當津村	元林武夫		1	上京六組北町	鈴木外次郎
	1	同 西本町	丸安篤平		0.5	住所不詳	北村義太郎
	1.5	同	岡田勝治	1888.11.27	0.5	上京区第廿五組久遠院前町二番戸	吉村伊助
	0.5	同 當津村	鈴木重雄		1	烏丸榎木町西入寄留清次長男 (5ヶ月賦)	永岡久登
	0.8	同	岸本丑三郎	1888.11.29	1	新北小路町	安田又七
	0.4	同	石谷佐次太郎	1888.11.30	3	東京麹町区永田町2丁目	古川源太郎
	0.2	同	藤田源吉	1888.12.5	1	下京区十四組難波町	清水吉太郎
	0.15	同 細工町	養田房吉	1888.12.6	1	下京区第三組西錦小路町	井上嘉助
	0.5	同 大蔵谷村	長谷川常七		0.5		岡山テル
	1	同 中町	竹内束	〔1888.12.8	5	丹後舞鶴松陰町	秋田道貫〕
	0.2	同	竹内作治郎	1888.12.13	2	室町三条北入	長島常次郎
	0.4	同	竹内フシ	1888.12.20	5	上京第十三尋常小学校長	中原虎三郎
	0.2	同	竹内キク			同第二十五尋常小学校長	山口正胤
	0.2	同	竹内ヒロ			同校職員	北〔戸〕詰吉祝
	0.5	同 當津村	吉田吉十郎				
	0.5	同 樽屋村	小野寺秀治				
	1	同 大明石村	鈴木久之助				
	0.3	同 相生町	横山治右衛門				
	0.15	同	三宅彌藏				
	0.2	同 大蔵谷村	石本文蔵				
⑪中外電報・日出新聞							
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名				
1888.11.18	1	上京区第十二組	野村伊兵衛				
	0.5	下京第二組鹽屋町林七兵衛雇入	大島順之助				
	0.3	同	浅井善吉				
	0.2	同	林内ミカ				
1888.11.22	5	下立売堀川東へ入	森谷真助				
	3.15	寺町本満寺前	木下元治				

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

		上京区第廿七尋常小学校長	安藤勝太郎		0.8	丹後宮津	北村達吉
		上京区第卅一尋常小学校長	田中八太郎		0.1	同	殿村和助
		下京第廿二尋常小学校長	竹内万次郎		0.1	同	梶川賢造
		下京第四尋常小学校長	関口秀範	1889.2.10	2	広島県備後国沼隈郡松永村	岡本儀一郎
		同校職員	村田於兎次郎		1.5	同	小林利八郎
		同上	神田駒次郎		1	同	岡本修吉
		同上	多村久慶	1889.2.14	6.3		伏見基督教講義所信徒9名
		同上	稲田米次郎	1889.2.22	3	丹後舞鶴竹屋町	渡邊彌蔵
	1	上京第十組新北小路	小〔木〕村鎮吾		1	同引土町	森谷磯八
1889.1.9	0.4	下京区第三十一組南瓦町	安井新十郎		1	同魚屋町	山中長右衛門
	1	滋賀県甲賀郡岩根村八十九番地	谷口春齋		0.5	同引土町	志馬茂一郎
1889.1.10	5	芸州賀茂郡竹原	頼俊直		1	同加佐郡引土村	国松六左衛門
1889.1.15	1.5	愛知県三州幡豆郡西尾裏町	新田義言	1889.2.28	5	長野県下伊那郡飯田町	木下孫六
	0.3		匿名	1889.3.5、 〔3.6〕	1.5	京都醒ヶ井七条下ル	真下源七
1889.1.20	1	伊予国宇和島	長尾信敬		1	丹後加佐郡溝尻村	木船衛門
1889.1.24	10	丹後舞鶴丹波町	土井市兵衛		0.2	同	木船盛義
	10	同国同所同町	今安直蔵		1	同餘部下村	布川範兵衛
	5	同国同所本町	金村仁兵衛		0.5	同行水村	矢野五兵衛
	5	同国同所竹屋町	田中嘉左衛門		0.5	同	上羽仁平
	3	同国同所同町	近藤久兵衛		0.5	同	某
	3	同国同所同町	村田喜左衛門		0.3	同	山内喜作
	3	同国同所寺内町	土井喜七		0.3	同	上羽作右衛門
	3	同国同所同町	林田彌寿夫		0.2	同	山内伊六
	2	同国同所竹屋町	加藤市左衛門		0.1	同	小〔柳〕原月諱〔峰〕
	2	同国同所平野屋町	木下源右衛門		0.1	同	某
	2	同国同所魚屋町	松本儀蔵		0.3	同森村寄留	小野修
	1	同国同所堀上町	鈴木井〔鼎〕革		0.1	同多門院村	山本傳吉
	1	同国同所北田邊町	喜多村元治		0.5	同堂島村	某
	1	同国同所竹屋町	逸見与市左衛門		0.3	同濱村	某
	1	同国同所平野屋町	小西長左衛門		0.2	同常村	二谷儀平
	1	同国同所新町	松本忠兵衛	1889.3.7	7	宇治郡大宅村	林平治
	1	同国同所堀上町	高雄半兵衛		5	同村	山本佐兵衛
	0.5	同国同所平野屋町	山中〔本〕吉右衛門		1	同村	間ステ
1889.2.2	0.3	丹後国加佐郡舞鶴	相馬要太郎		1	同村	澤井ヲク
1889.2.8	7	丹後竹野郡網野村	森田重武・森田リセ		1	同村	間定次郎
					0.3	同村	山本能太郎
					0.3	同村	林幾次郎
					0.3	同村	澤井武三郎
					0.2	同村	竹本勘右衛門
					0.2	同村	澤井徳右衛門
					0.2	同村	同長三郎
					5	同畑辻村	中村敏夫
					5	同村	同利右衛門
					0.5	同村	吉川仙太郎
					0.3	同村	田中惣吉
					0.3	同村	河合文吾

	0.2	同村	同孝太郎		1	同郡同村	川口正定
	5	同東笠取村	井上萬之助		1	同郡満垣村	能勢長十郎
	2	同西笠取村	杉谷亀三郎		1	同郡八津合村	森津幸右衛門
	3	同醍醐村	北村俊太郎		0.5	同郡物部村	平和善左衛門
	3	同村	内海忠兵衛		0.5	同郡私市村	大志万誠太郎
	2	同村	鯨利右衛門		0.5	同郡十根村	渡邊盛輔
	1	同村	左右田實英		0.5	同郡廣瀬村	添田達恒
	1	同村	同忠太郎		0.5	同郡高等小学校教員	沼田安藏
	1	同村	飯田明德		0.5	同郡故屋岡村	中野宗治
	0.5	同村	妹尾重光	1889.3.23、 [3.22]	10	丹後国加佐郡北有路村	平野吉左衛門
	0.5	同村寄留	竹村宜文		3	同	平野忠治
	0.1	同村	森山信之助		1	同	平野謙二郎
	0.1	同村寄留	樽山重治		0.2	同	平野大三郎
	0.1	同村寄留	関口利一		0.2	同	平野久左衛門
	1	同石田村	林久助		0.2	同	真下久右衛門
	1	同小野村	中井理三郎		0.5	同国同郡南有路村	木村直太郎
	0.3	同村	高橋芳之助		0.5	同	土佐寅平
	0.2	同村	廣田祐右衛門		0.3	同	真下與四郎
	0.1	同村	原田治郎		0.2	同	荒木吉四郎
	0.1	同村	岡本延吉		0.2	同国同郡三河村	伊田俊平
	1	同大塚村	平井権四郎		0.2	同	山田福太郎
	1	同村	雄山平次郎		3.9	同国同郡由良村	有志中
	0.5	同村	某		0.5	同石浦村	同断
	1	同音羽村	川中増太郎		0.5	同蒲江村	同断
	1	同村	中川安次郎		0.2	同油江村	同断
	0.2	同村	粟津福千代		1.2	同西神崎村	同断
	1	同厨子奥村	四手井綱頼		0.7	同東神崎村	同断
	1	同四の宮村	松村与三郎		1	丹後国加佐郡京田村	高田久兵衛
	0.5	同上花山村	比留田三郎		0.2	同	高田廣三郎
	0.5	同勧修寺村	佐々木秀敏		0.2	同	高田福藏
	0.3	同村	中村彌三郎		0.2	同	嶽藤兵衛
	0.5	同日野村	岩城頼親		1	伊佐津村	水島作藏
	0.3	同村	鎌田寛隆		0.3	同	川北藤右衛門
	0.2	同御陵村	矢部文範		0.2	同	橋本慶治
	0.4	同村	磯田甚左衛門		0.2	同	川北藤次郎
	0.2	同竹ヶ鼻村	高坂勝太郎		0.2	同	川北重吉
	0.1	同村	山本長四郎		0.2	公文名村	堀江忠兵衛
	0.2	同山階校在勤	松本平吉		1	同	林莞男
	0.1	同西の山村	田中一郎		0.3	同	嵯峨根徳平
	0.1	同東野村	朝倉善解		0.2	同	村尾重兵衛
	0.1	同北小栗栖村	中村源三郎		0.2	同	村尾力藏
	0.5	但馬国出石郡久畑村	中易友太郎		0.2	同	堀江辰藏
1889.3.16	10	丹波国何鹿郡多田村	猪岡一夫		1	七日市村	藤本儀右衛門
	5	同郡報恩寺村	片岡健之助		0.5	同	吉田九右衛門
	5	同郡私市村	大志万重晷		0.3	同	藤本茂重郎
	5	同郡元宮町	大概藤左衛門		0.2	同	福田勇藏
	5	同郡綾部町	羽室九左衛門		0.2	同	福田清藏
	1	同郡高等小学校長	古川繁雄		0.2	女布村	森脇治平
	1	同郡同校教員	井上善吉		0.2	同	山田嘉市郎
	1	同郡廣瀬村	能勢譲		0.2	野村寺村	亀井彌治右衛門
	1	同郡本宮村	山添澄時				
	1	同郡同村	村田重孝				

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

	0.2	同	岸田元藏
	0.2	城屋村	片倉吉平
	0.2	同	坪内泰吉
	0.2	高野由里村	嘉門喜藏
	0.2	同	武内賢藏
	0.2	引土村	井口陸藏
	0.2	同	白井長兵衛
	0.2	同	玖津見善助
	0.2	境谷村	竹内良平
	0.1	真倉村	迫田鶴松
	0.1	十倉村	小谷安三郎
	0.1	下京区七組三丁目	中川店喜多川
	0.1	同	西村
	0.5	山口県阿武都紫福村	長岡慶太郎
1889.3.28	1	何鹿郡報恩寺村	松本榮太郎
	0.25	同村	高木克敬
	0.2	同村	松本孫吉
	0.2	同村	野田金右衛門
	0.3	同郡山野口村	田邊時藏
	0.3	同郡私市村	芦田義夫
/1889.3.31	0.2		某
	0.5	大阪京町堀3丁目	吉田種三
	0.2	古門前繩手東入	朝日三郎
1889.4.9、 [4.6]	0.1	岡山県備中国後月郡高屋村	安井元市
	0.1	同	安井利七
	0.2	同	原田与三郎
	1	同	吉川繁太
	0.2	同	上野房太郎
	0.2	同	高木長三郎
	0.2	同	岡本友次郎
	0.1	同	岡本初〔和〕四郎
	0.1	同	寺川周節
	0.2	同	上野涼平
	0.2	同	鳥越元勉
	0.1	同小田郡大江村	池田富三郎
	0.2	大分県平民当時京都上京区下丸屋町	相良工
	20	丹後加佐郡岡田上村	岩田諒太郎
	5	同上	岩田藤太郎
	2	山城久世郡淀町字新町	服部博文
1889.4.20	5	福岡県豊前国企救郡小熊野村	古谷文之助
	0.3	近江国八幡町字宮内町	伊東十一郎
	0.2	同野洲郡吉地村	西川秀吉

	0.1	同神崎郡須田村	川村嘉助
	1	同八幡町字永原町	近藤幸衛
	0.2	同字為心町	長井豪
	2	同	中村松太郎
	0.2	同	塚村ヒサ
	0.1	同	中村イク
	1	同新町	島信太郎
	0.1	同	島田フサ
	0.1	同	島田シヲ
	0.1	同字魚田屋町	小林六三郎
	0.1	同八幡町	小川三吉
	0.2	同字為心町	北岸亮次郎
	0.1	同	岸田音治郎
	0.2	同字西元町	高橋寛
	0.2	同字鍛冶屋町	野間憲吉
	0.1	同野間セツ	野間セツ
	0.1	蒲生郡字津呂村	土田茂
	0.1	同	土田ウメ
	0.1	同八幡字本町	川島伝治郎
	0.1	同	川島キケ
	0.2	同字正神町	鶴田民称
	0.1	同字本町	西井久吉
	0.1	同字永原町	近藤ミカ
	0.1	八幡町	小西宗祐
1889.4.21	1	近江国滋賀県大津町阿字上馬場町	福尾大吉
	1	同	福尾呉嶽
	0.5	同	福尾うめ
1889.4.25	1	京都府高等女学校	内田やす
	1	丹波何鹿郡山家〔綾部〕	菅沼通順
	0.5	同綾部〔山方〕	内〔羽〕室鷹之介
	0.5	美濃国加茂郡黒川村	安江順次郎
	0.2	同	内木二男、村雲芳松
1889.4.28	5	和歌山県和歌山区南中間町寄留高知県土族	濱田時郎
⑫海南新聞			
新聞雑誌名/掲載日		寄附額	居所・所属
1889.3.24		5	野田直幹
		2	杉浦忠直
		1	森正義
		0.5	木村利武
		0.1	西山重威
		0.1	長尾威章
		0.3	服部信康
		0.5	中堀真道
		0.1	玉井■藏

	0.25		南條光廣
	0.25		近藤景受
	0.1		北野徳久
	0.5		宮内元善
	0.2		小林惟一
	2		山崎集
	1		白土玉置
	3		岩間彦次郎
	0.25		松浦慎蔵
	0.5		奥平貞利
	0.2		伊木常久
	0.2		杉浦祐明
	0.1		加藤秀幸
	0.2		木村通久
	0.2		岡幸忠
	0.3		澤次郎
	2	松山病院	土居善次郎
	2.5		松山有志数名
	1	松山出淵町一丁目卅壹番地	東正信
1889.4.7	2	桑村郡高知村	大澤亀代太郎
		温泉郡石出村	原信正
		桑村郡国安村	河野寅治郎
		同郡同村	河野梅次郎
		同郡同村	河野通保
		同郡同村	河野通匡
1889.4.20	0.1		白石降諦
	0.175		角田正保
	0.1		東ツ子
	0.15		吉田亀吉他一人
	0.1		古茂田勇次
	0.1		矢野フサヨ
	0.1		高原イト
	0.1		増田イシ
	0.1		村上サト
	0.1		久門セイ
	1		安永コト
	4		内田實
	0.5		阿部柯
1889.4.23	1		西村保吉
	1		宮内安貞
	1		伊藤榮太郎
	1		村井信大
	0.5		佐渡高堅
	0.3		山中良三郎
	0.5		林暉意
	0.1		富田政
	0.1		藤原某妻
	0.5		三好トヨ
	0.2		小川久次郎
1889.4.26	10	松山湊町四丁目寄留広島県	三宅泰介
	1		杉浦義徳
	0.2		三好文平
1889.4.28	5	松山南歩行町	山内豊盈

	1		後藤守衛
1889.5.1	0.2		松山住某
	0.2		岡本正保
	0.1		中村タイ
	0.1		戒能祐太郎
	0.5		藤田仙太郎
	0.1		池田和吉
	0.1		稲生田正央
	0.1		村井宰
	0.1		喜多川久徴
	0.1		同ミサ
	0.1		同トラ
	0.1		同久祐
	0.1		同イシ
	0.3		中村采
	0.5		二宮ウノ
	0.2		入山知一
	0.1		中村イシ
	0.1		吉田チヨ
	0.1		角田リウ
	0.3		山本明常
	0.3		富田政〔カ〕
	0.1		吉牟田龍太郎
	0.1		松浦カメヨ
	0.1		同シン
	0.1		中村モト
	0.15		宇都宮正重郎
	0.3		春日チヨ
	1		二宮邦次郎
	0.1		近藤信之
	0.4		松本正勤
	1		岡田善作
	0.3		角田ゲン
	1.5		角田正保
	0.5		中村芬
	0.1		越智アイ
	0.25		田中有泰
	0.1		松浦為五郎
	0.15		岩崎喜一郎
	3		西垣維新
	0.1		中村ミツ
	0.1		黒田嘉平
	0.5		二宮キヨ
	0.1		小川シナ
	0.2		長坂梯輔
	0.1		鳴戸庄平
	0.2		春日ユカ
	0.5		高橋ヨシ
	2		菱田中行
	1		同クニ
	1		内藤チカ
	0.5		山中シヅ
	0.2		山本アサ
	0.2		三輪ミ子

同志社第一回「大学設立義捐金募集運動」

⑬土陽新聞			
新聞雑誌名／掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
1889.3.22	0.5	土佐山郷	本川二郎
	5	西唐人町	吉岡弘毅
1889.4.14	1		細川澗
	1		細川亨吉
	1		菅和
	0.5		宇田猛児
	0.5		松本庫太郎
	0.5		無名氏
	0.3		勝賀瀬タキ
1889.4.16	1		河野脩
	0.2		目代楠次
	0.5		野村直彦
	0.2		吉田音馬
1889.4.19	0.5		福富魯
1889.4.21	0.5		武馬淡
	0.5		吉田久万次
	0.2		行宗貞義
	0.1		横田茂長
	0.1		岩戸孫之進
	0.1		細木瀧太郎
	0.1		瀬尾春
	0.1		中山廉吉
	0.1		瀧口カナイ
	0.1		大塚鎮三郎
	0.1		無名氏
	0.1		無名氏
	0.1		奥村ヤス
	0.15		小栗セイ
	0.15		同テイ
1889.4.24	0.5		坂本駒吉
	0.2		谷村満左
	0.1		町田三郎
	0.1		市村猛馬
	0.1		荒尾祥作
	0.3		濱田
	0.3		安岡榮吾
1889.4.25	0.5		徳橋万六
	0.2		松浦勝次
	0.1		弘松宜晴
1889.4.26	0.5		今井喜之助
	0.1		前田耕作
1889.4.27	3		大脇ノブ
	2		同ヤス
	1		川窪清音
	0.2		小栗正気
1889.4.28	0.2		孕石ちを
	0.2		吉元良太郎
1889.4.30	0.2		村上ちを
	0.2		元吉良太郎
	0.8		土佐山東部婦人修風会
1889.5.1	1		無名氏
	0.5		無名氏
	0.4		大脇ウタ

	0.25	村井正雄
	0.25	同千代
	0.25	同サト
	0.25	同直喜
	0.1	中山ともへ
	0.1	大岡政信
	0.14	土佐山某女
1889.5.2	0.3	入江改實
	0.2	宮田榮
	0.2	澤村魁
	0.5	西岡隆敬
	3	楠正任
	0.5	藤村米太郎
	0.5	包國可治
	0.3	島村信作
	0.3	濱田寅太郎
	0.2	平井謙吉
	0.2	濱田佐五郎
	0.2	安岡勘助
	0.1	石谷名巨
	0.1	島村貫一
	1	竹崎才吉
	0.3	北川虎雄馬
1889.5.11	1	伊野村某女
	0.5	本町 森
	0.5	今村萬次郎
	0.1	一柳喜之助
	0.1	長野嘉之助
	0.67	無名氏
1889.5.12	0.1	大原里俊
1889.5.14	10	板垣鉦太郎
	0.5	西本正美
	0.1	豊永房吉
	0.1	武井豊重
1889.5.16	1	山本賢一郎
	0.3	山本修二郎
	0.1	垣内繁直
	0.1	村山寛次郎
	0.1	島田慶蕃
	0.3	屠龍学士
	0.2	近藤猪太郎
	0.2	内海虎之
	0.1	本多源五郎
	0.2	池本優
	0.1	岡上柳太郎
	0.5	大堀村一婦人
	0.2	田中兼之助
	0.1	山本才三
	0.1	野本涉
	0.1	岡上猪太郎
	0.1	岡上寅太郎
	0.1	野本久治
	0.2	手塚新
	0.2	手塚愛尾
	0.1	手塚督郎

	0.1		山中馬太郎
	0.1		岡崎森馬・吉川春吉
⑭福岡日日新聞			
新聞雑誌名/掲載日	寄附額	居所・所属	寄附者名
(3回分不明)			
1889.1.6	10	山門郡柳河八百屋町	高橋重吉
	10	同郡柳河新船津町	森繁
	5	同郡柳河八百屋町	嶋田齋一
	1	同郡柳河新船津町	森リン
	0.5	同郡柳河八百屋町	嶋田ツタ
	0.5	同郡柳河吉富村	田中道直
	0.5	三池郡大牟田村	永松純一郎
	0.2	同郡今福村	檀文太郎
	0.2	山門郡柳河鬼童町	江口久次郎
	0.1	同郡筑紫村	道庭儀三郎
1889.1.11	1	山門郡柳川旭町	戸上純庵
	1	同郡柳川矢留村	大城有保
	1	同所	内田陽吉
	1	同所	内山田直作
	0.3	三池郡三池町当時山門郡矢留村滞在	内田親耕
	0.2	山門郡柳川矢留村	坂井静治郎
	0.2	同所	内山田ツヤ
1889.1.23	6	山門郡柳河吉富村	梶山信
	5	同郡柳河柳町	十時一郎
	4	同郡柳河袋町	松澤岩人
	2	同郡柳河■町	駒形虎治
	2	同郡柳河本町	立花モセ
	1	同郡柳河新外町	森軍治
	1	同郡柳河高島町	加藤査
	0.5	同郡柳河	元城チカ
	0.5	同郡柳河矢留村	片山道頼
	0.2	上妻郡谷川村	玉井ヨシ
	0.2	山門郡柳河筑紫村	津村鶴松
	0.2	同郡柳河江曲村	木原政治
	0.2	同郡柳河北長柄町	増豊吉
	0.15	同郡新船津町	堺タケ
	0.1	同郡枝光村	野中豊次
1889.2.15	0.4		池田正道

	0.3		久保田與一
	0.25		岩井芳太郎
	0.25		内田情
	0.2		園田行敏
	0.2		立澤久雄
	0.2		黒田純蔵
	0.15		内野喜代治
	0.15		坂口平
	0.1		福岡福次
	0.1		内野正太郎
	0.1		江崎徳蔵
	0.1		奥園清定
	0.1		古賀熊吉
	0.1		小野卯十郎
	0.1		早川登
	0.1		塚本小太郎
	0.1		神崎信
1889.3.2	10	山門郡柳川瀬高町	高棟金次郎
	5	同郡同町	木下岐参吉
	5	同郡柳川坂本町	十時文四郎
	1	同郡本城町	石川彌門太
	0.1	同郡柳川柳町	遠藤善十郎
	0.1	同郡同町	安藤辰次郎
	0.1	同郡本城町	垣田稔
	0.1	同郡新外町	伊藤真澄
	0.1	同郡鬼童町	友清貞道
1889.4.16	1.5		縣運
	1		南部文蔵
	1		浦家淑
	0.5		松岡進七
	0.5		蒲島益脩
	0.5		惟崎千之
	0.5		篠澤驍
	0.5		水野澄信
	0.5		永江猪十郎
	0.5		今村高
	0.5		渡辺純一
	0.5		吉永政太郎
	0.5		立花親俊
	0.5		今村廣門
	0.3		桂元碩
	0.2		佐野乙蔵
	0.2		関一郎
	0.2		永江忠衛
	0.2		淡輪止敬
	0.1		野實夫
	0.1		森市太郎
	0.1		古賀一七郎
	0.1		山下繁
	0.1		田中静枝
	0.1		柴田勝定
1889.4.23	1.5		平田道見
1889.4.23	0.4		長野宗育